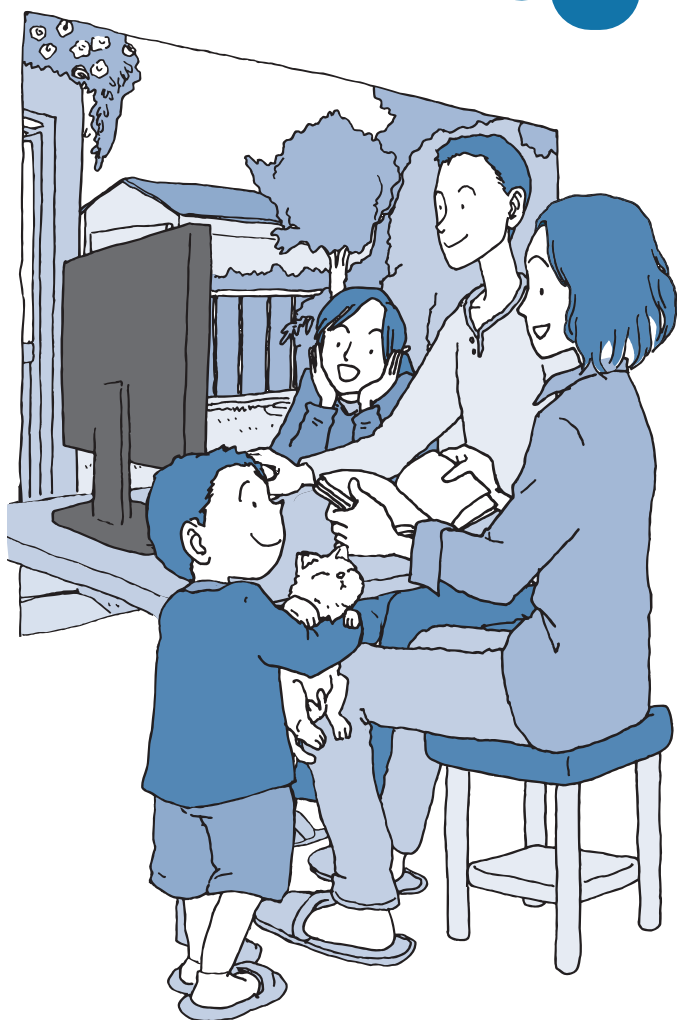
NEC

準備と基本

「あなたのパソコン」として使うために

LaVie L

●マニュアルガイド●

このパソコンには、次のマニュアルが添付されています。
目的に合わせてご覧ください。

この本

パソコンを使う準備をしよう

『準備と基本』

パソコンの接続やセットアップ／ウイルス対策／インターネットに接続する方法／基本機能／パソコンのおすすめ機能　など

パソコンでテレビを見てみよう

『テレビを楽しむ本』

（ワイヤレスTVデジタル添付モデルのみ）

パソコンで簡単にテレビを見る方法／インターネットの接続方法／おてがる予約や新番組おまかせ録画／録画番組の編集／DVDなどへの保存方法／一歩すすんだテレビ操作　など

デスクトップにある をダブルクリック

パソコンの中にもマニュアルがある

「ソフト&サポートナビゲーター」

使いたいソフトを探して、起動する／機器の取り付け方法や操作、セキュリティの設定／うまくいかないとき、故障かなと思ったとき／各部の機能や名称などの情報／用語集　など

パソコンを安心して使うために

『トラブルの予防と解決』

バックアップの種類と方法／インターネットのトラブル解決／パソコンの電源が入らないときは／ウイルスに感染してしまったら／再セットアップ方法／NECのサービス＆サポート　など

※第5章に、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）や各種サービス＆サポート情報を記載しています。

853-811064-078-A

このマニュアルの読み方

準備編

―――― パソコンを使い始める際に必要な設定について説明しています。

【第1章】 セットアップの前に	添付品の確認や電源コードの接続など、まず最初におこなうことについて説明しています。
【第2章】 セットアップする	パソコンの電源を入れて最初におこなう設定（セットアップ）やセットアップ後におこなう作業について説明しています。
【第3章】 インターネットを始める	インターネットの接続やウイルス対策について説明しています。

基本編

― このパソコンの主な機能の紹介と機能の拡張、特有の機能について説明しています。

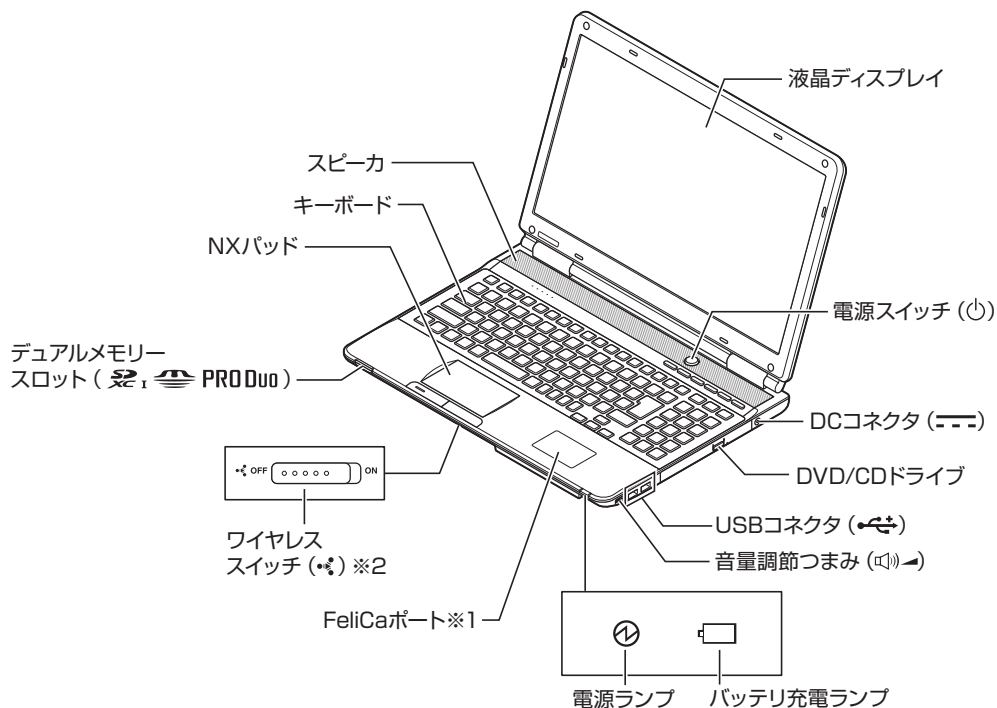
【第4章】 基本機能	省電力機能や音量の調節方法など、このパソコンの主な機能について説明しています。
【第5章】 パソコンに取り付ける	パソコンに取り付けられる機器の紹介や内部に新しい部品を取り付ける方法について説明しています。
【第6章】 おすすめ機能	このパソコン特有の機能を使ってできることを紹介しています。

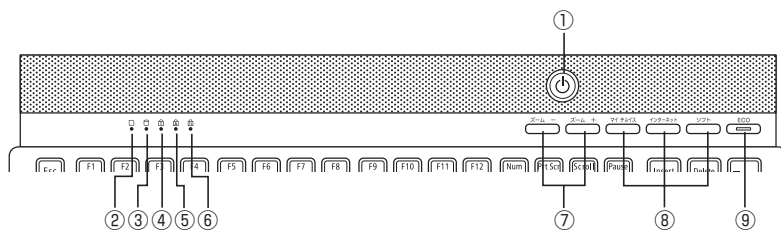
付録 ―――― お手入れの方法やアフターケアなど、さまざまな情報を記載しています。

仕様一覧 ―――― パソコンの性能や機能について詳しい情報を記載しています。

853-811064-078-A
2011年2月　初版

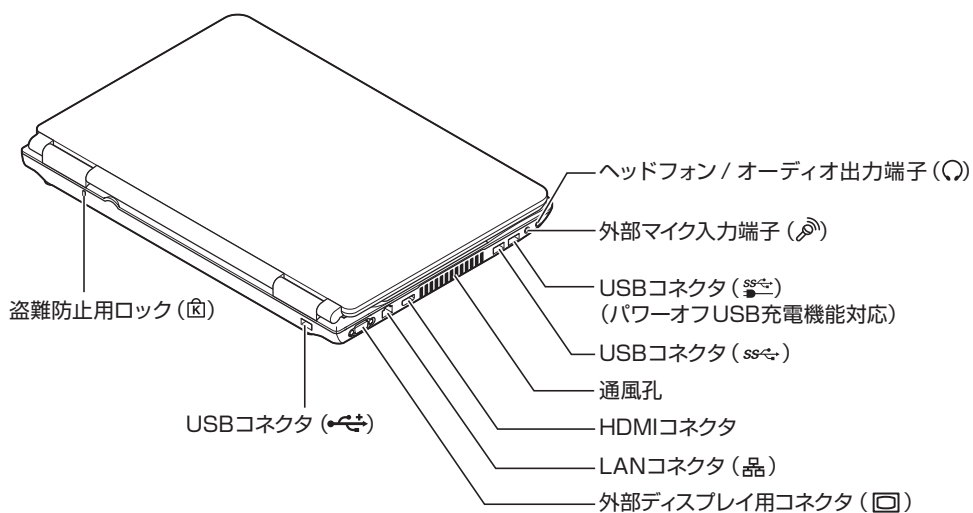
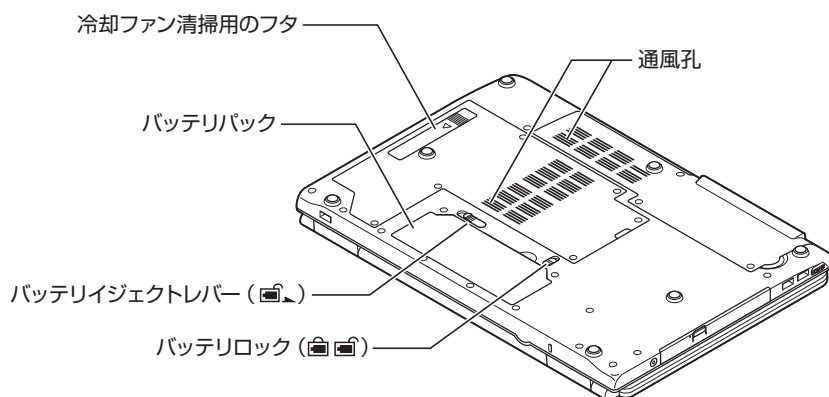
各部の名称(1)

●本体前面/右側面

※1:FeliCa対応モデルのみ
※2:ワイヤレスLAN機能を搭載したモデルのみ

●キーボード上部

①電源スイッチ
②デュアルメモリースロットアクセスランプ
③内蔵ドライブアクセスランプ
④ニューメリックロックキーランプ
⑤キャップスロックキーランプ
⑥スクロールロックキーランプ
⑦ズームボタン
⑧ワンタッチスタートボタン
⑨ECOボタン/ランプ

詳しくは、「各部の名称と役割」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索)をご覧ください。

各部の名称(2)

●本体背面/左側面

●本体底面

詳しくは、「各部の名称と役割」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索）をご覧ください。

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

⚠注意　人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

してはいけないことや、必ずしていただきたいこと、とくに大切な注意を説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、人が傷害を負ったり、費用が必要になったりする可能性があります。また、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。

注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。

パソコンをお使いになる際のヒントやポイントとなる説明です。

関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーおよびリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチドライブ機能付き）、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト＆サポートナビゲーター」は、タスクバーの（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例) 検索番号が「91060010」の場合

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

次ページの表をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)を搭載しているモデルのことです。
高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル	IEEE802.11a(5GHz)、IEEE802.11b/g(2.4GHz)、およびIEEE802.11n(2.4/5GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	IEEE802.11b/g(2.4GHz)およびIEEE802.11n(2.4GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
FeliCa対応モデル	「FeliCaポート」を搭載、または添付したモデルのことです。
Windows 7 Home Premiumモデル	Windows 7 Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows 7 Professionalモデル	Windows 7 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2010モデル	Office Personal 2010またはOffice Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。

Office Personal 2010モデル
Office Personal 2010が添付されているモデルのことです。

Office Home & Business 2010モデル
Office Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。

デジタルハイビジョンTVモデル
地上デジタル放送、またはBS・110度CSデジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。

ワイヤレスTVデジタル添付モデル
地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送を、ワイヤレスLANを使ってパソコンに送信する機能を搭載した「ワイヤレスTVデジタル」が添付されたモデルのことです。

リモコン添付モデル
リモコンが添付されているモデルのことです。

3D対応モデル
3D映像や3D画像の再生に対応しているモデルのことです。

シリーズ名：LaVie L	表記の区分					
型名(型番)	BD/DVD/CDドライブ※1	ワイヤレスLAN	FeliCaポート	TV機能	OS	添付ソフト
LL970/DS (PC-LL970DS)※2	ブルーレイディスクドライブモデル	高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル	FeliCa対応モデル	ワイヤレスTVデジタル添付モデル	Windows 7 Home Premium モデル	Office Home & Business 2010 モデル
LL850/DS6□ (PC-LL850DS6□)※3		高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル		－		
LL770/DS (PC-LL770DS)※2		高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル		ワイヤレスTVデジタル添付モデル		
LL750/DS6□ (PC-LL750DS6□)※3		高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	－	－		

※1：BDとはブルーレイディスクのことです。
※2：LL970/DS、LL770/DSは3D対応映像や3D画像に対応しています。
※3：本体の色によって□の中に異なる英数字が入ります。

シリーズ名	カラー	型名(型番)
LaVie L	クリスタルホワイト(スクラッチリペアあり)	LL850/DS6W (PC-LL850DS6W) LL750/DS6W (PC-LL750DS6W)
	クリスタルブラック(スクラッチリペアあり)	LL850/DS6B (PC-LL850DS6B) LL750/DS6B (PC-LL750DS6B)
	クリスタルレッド(スクラッチリペアあり)	LL850/DS6R (PC-LL850DS6R) LL750/DS6R (PC-LL750DS6R)
	クリスタルブラウン(スクラッチリペアあり)	LL850/DS6C (PC-LL850DS6C) LL750/DS6C (PC-LL750DS6C)

◆LaVie Gシリーズについて

LaVie Gシリーズの各モデルについては、添付の『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

◆本文中の記載について

・ 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・ 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆周辺機器について

・ 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
・ 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 7	Windows® 7 Starter Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional
Office Personal 2010	Microsoft® Office Personal 2010
Office Home & Business 2010	Microsoft® Office Home and Business 2010
Outlook、Outlook 2010	Microsoft® Office Outlook® 2010
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
Windows Media Center	Windows® Media Center
タスクバー	Windows® タスクバー
Windows Update	Windows® Update
Windows 転送ツール	Windows® 転送ツール
Windows Live メール	Windows Live® メール 2011
インテル My WiFi テクノロジー	インテル® My WiFi テクノロジー
インテル ワイヤレス・ディスプレイ	インテル® ワイヤレス・ディスプレイ
ファイナルパソコンデータ引越し	ファイナルパソコンデータ引越し 7 ™ ライト for NEC
ウイルスバスター	ウイルスバスター 2011 クラウド™
Corel WinDVD	Corel® WinDVD®
Corel WinDVD AVC	Corel® WinDVD® AVC
Corel WinDVD BD	Corel® WinDVD® BD

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守･修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Excel、Office ロゴ、OneNote、Outlook、PowerPointは、米国Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
Windows Live は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
インテル、Intel、Intel Coreはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
Corel、Corelのロゴ、WinDVDは、Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。
Paint Shop Proは、米国およびその他の国におけるCorel Corporationあるいはその子会社の商標または登録商標です。
SDXC、SDHC、SD、microSDHC、microSD、ロゴはSD-3C, LLCの商標です。
MEMORY STICK、"Memory Stick"、"メモリースティック"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"マジックゲート メモリースティック"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG"、"メモリースティック マイクロ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
ExpressCardならびにそのロゴはPCMCIA(Personal Computer Memory Card International Association)の商標です。
"Blu-ray Disc"は、商標です。
HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
SmartVision、FontAvenueは、日本電気株式会社の登録商標です。
BIGLOBEはＮＥＣビッグローブ株式会社の登録商標です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
「おサイフケータイ」はNTTドコモの登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
「Yahoo!」は、Yahoo!Inc.の登録商標です。
ヤフー株式会社は、これに関する権利を有しています。
DigiOn、DiXiMは株式会社デジオンの登録商標です。
MaxxAudio、MaxxBass、MaxxVolume、MaxxTreble、MaxxStereo、MaxxDialog、WAVES MAXX AUDIO はアメリカ合衆国およびその他の国々におけるWaves Audio, Ltd.の登録商標です。
ファイナルパソコン引越しおよびファイナルパソコンデータ引越しはＡＯＳテクノロジーズ株式会社の日本における商標です。
PCMoverは、米国における米国 Laplink Software 社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

基本編

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

準備編

第1章

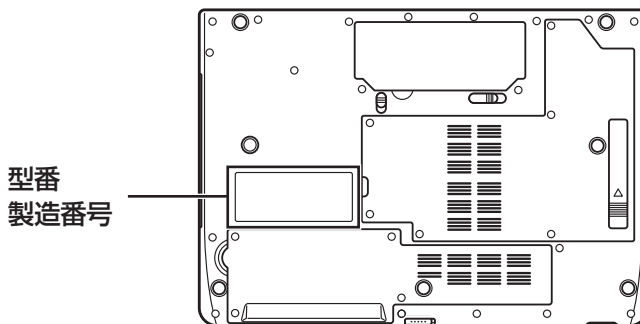
セットアップの前に

この章では、添付品の確認や電源コードの接続など、パソコンの箱を開けて電源を入れる前におこなうことについて説明します。

製品を確認する

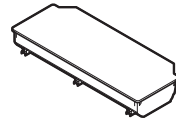
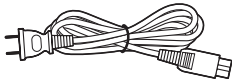
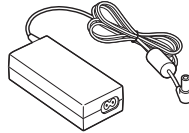
保証書と本体のラベルの記載内容が一致していることを確認してください。

●保証書

●パソコン底面

重要

- ラベルに記載された番号が保証書と異なっている場合、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）（p.4）にお問い合わせください。
- 保証書は、所定事項（販売店名、お買い上げ日など）が記入されていることを確認し、保管してください。
- 保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容に基づいて修理いたします。保証期間終了後の修理についてはNECサポート窓口（121コンタクトセンター）にお問い合わせください。

添付品を確認する

・ 次のチェックリストを見ながら、添付品がそろっているかを確認してください。
・ LaVie Gシリーズをご購入の場合は、『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧になり、添付品を確認してください。

□ パソコン本体　□ バッテリパック

□ 電源コード　□ ACアダプタ　□ マウス

●マニュアルなど

□ ソフトウェアのご使用条件(お客様へのお願い)／ソフトウェア使用条件適用一覧
※ 1枚になっています。
箱の中身を確認後必ずお読みください。
□ 安全にお使いいただくために
※ 箱の中身を確認後必ずお読みください 。
□ デジタル放送録画番組配信機能をお使いのお客様へ
□ PC修理チェックシート
□ 準備と基本(このマニュアル)
□ トラブルの予防と解決

●「Microsoft® Office Home and Business 2010」の添付品

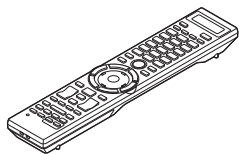
□ 「Microsoft® Office Home and Business 2010」のパッケージ

●PC-LL970DS、PC-LL770DSのみ

□ 3D対応モデルをご購入いただいたお客様へ
□ 3Dメガネ(偏光板方式)※

※ 添付されている3Dメガネは、NECパーソナルプロダクツ(株)が指定するパソコンとの組み合わせで使用する3D専用メガネです。

●PC-LL970DS、PC-LL770DSのみ

□ワイヤレスTVデジタル※
※ワイヤレスTVデジタルのパッケージについて詳しくは『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

□リモコン

□リモコン受信用ユニット

□リモコン用乾電池（単3形×2本）

□B-CASカード
※台紙に貼り付けられています。

□BS・110度CSデジタル放送パンフレット／加入契約申込書
□テレビを楽しむ本

■添付品が足りないときは

万一、足りないものがあったり、添付品の一部が破損していたときは、すぐに下記までお問い合わせください。

●NECサポート窓口（121（ワントゥワン）コンタクトセンター）

フリーコール 0120-977-121

※音声ガイダンスにしたがって、窓口番号「2　故障診断・修理受付」を選択してください。
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、上記電話番号をご利用いただけないお客様は次の電話番号へおかけください。
03-6670-6000（通話料お客様負担）

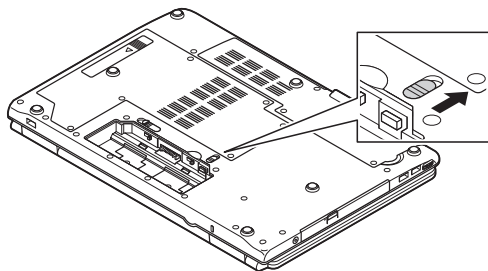
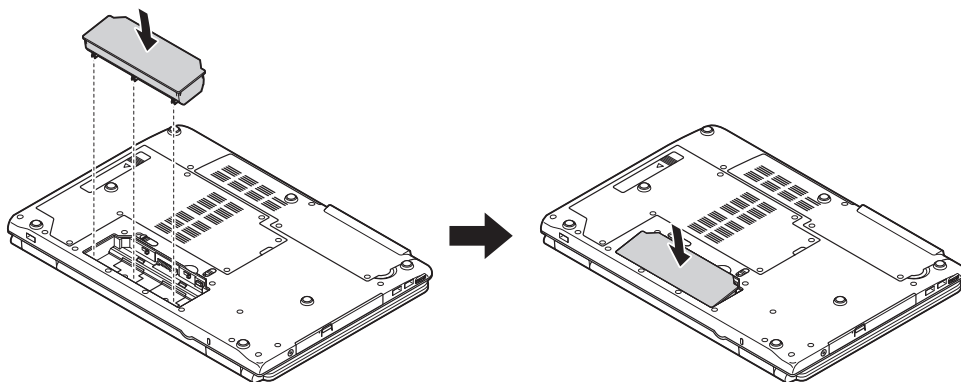
NECサポート窓口（121コンタクトセンター）の詳しい情報は『トラブルの予防と解決』第5章の「NECのサポート窓口に電話する」をご覧ください。

■「電子マニュアルビューア」について

このパソコンのマニュアルは、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「電子マニュアルビューア」でご覧いただくこともできます。また、「電子マニュアルビューア」では、ご購入時以降のさまざまな情報に対応した、最新のマニュアルをご覧いただける場合もあります。

「電子マニュアルビューア」はインターネットに接続後、次のURLからご利用いただけます。
http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

バッテリパックを取り付ける

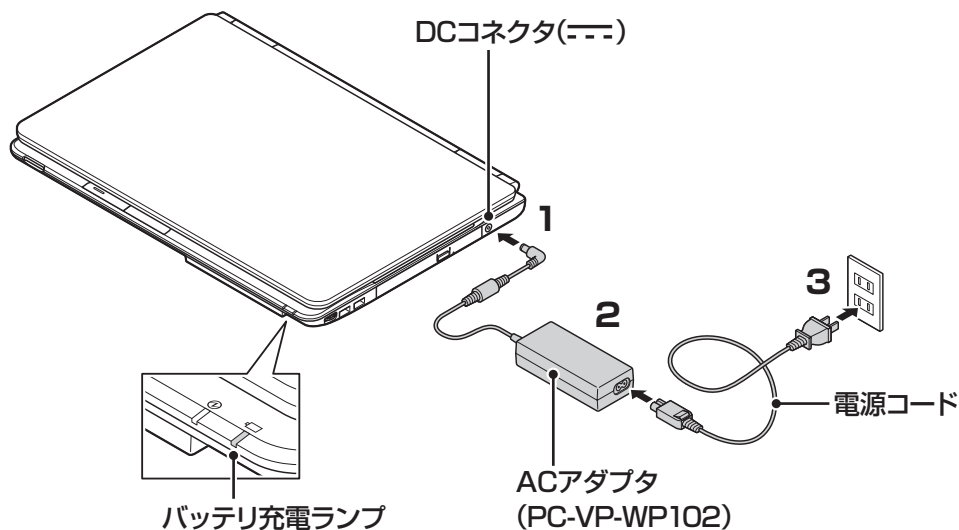
1 パソコンを裏返し、バッテリロックを矢印の方向にスライドさせる

2 バッテリパックの底面のツメを本体のツメに引っかけて取り付け、矢印方向に押し込む

3 バッテリロックを手順1と逆の方向にスライドさせ、バッテリパックをロックする

バッテリパックはセットアップが完了するまでは取り外さないでください。

バッテリパックの取り外しについて

▶第4章の「バッテリ」(p.63)

ACアダプタを接続する

接続は次の図を見ながら、順番を守っておこなってください。
プラグをコンセントに差し込みバッテリ充電ランプが点灯するのを確認したら、続けてWindowsのセットアップに進んでください。

重要

- ご購入直後にはじめてバッテリを充電するときは、フル充電されるまでACアダプタを抜かないでください。
- セットアップ作業が終わるまで(p.14)、ACアダプタを抜かないでください。
- 電源コードなどが人の通る場所にないことを確認してください。ケーブルを足に引っかけたりするとパソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

参照

バッテリ充電ランプについて
▶第4章の「バッテリ」(p.63)

参考

インターネットへの接続や周辺機器などの接続は、セットアップ作業が終わった後におこなってください。

準備編

第2章

セットアップする

この章では、パソコンの電源を入れて最初におこなう設定（セットアップ）やセットアップ後におこなう作業、パソコンの電源を入れる/切る操作について説明します。

この章の所要時間：20〜40分程度

セットアップ前の確認

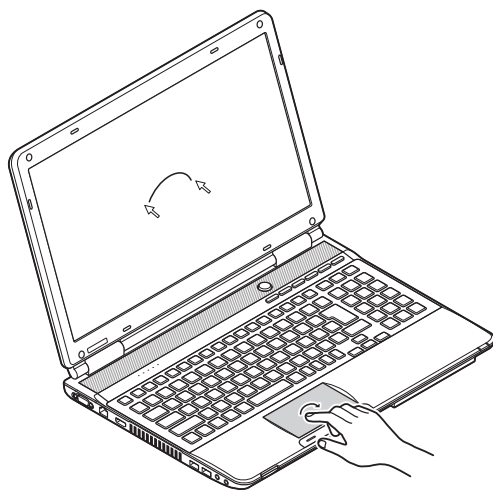
重要

- セットアップ中に電源を切ったり、電源コードを抜くと故障の原因になります。p.14の画面が表示されるまでは、電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。
- ワイヤレススイッチなど、セットアップで使用しないボタン類を操作しないでください。

■セットアップの基本操作

はじめてパソコンを操作するかたはご覧ください。

●画面の矢印 を動かす

NXパッドの上で指をすべらせると、その動きに合わせてマウスポインタを動かすことができます。

●クリック

マウスポインタを目的の位置に合わせてNXパッドの左ボタンを1回押す動作をクリックといいます。

Windowsをセットアップする

1 パソコンのふたを開けて、電源スイッチを押す

電源が入ると、電源ランプが点灯します。

重要

・電源スイッチを押してから、手順2の画面が表示されるまでに数分かかることがあります。その間、NECのロゴ(社名のマーク)が表示されたり画面が真っ暗になったりしますが、故障ではありません。手順2の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。
・手順2の画面が表示されずに「Press F2 to Enter BIOS Setup」と表示されたときは「セットアップの画面が表示されないときは」(p.14)をご覧ください。
・液晶ディスプレイ画面の一部に生じるドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)は液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。詳しくは付録の「アフターケアについて」(p.84)をご覧ください。

2 半角英数字(a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9)で任意のユーザー名を入力し、「次へ」をクリックする

画面はモデルによって異なります。

重要

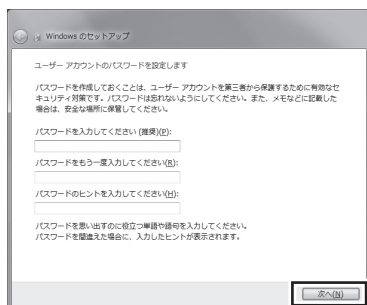
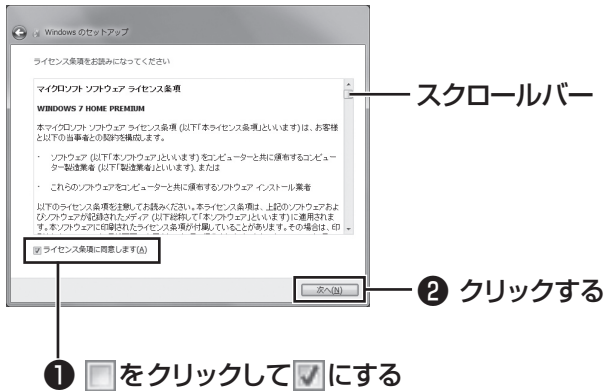
・ 入力したユーザー名を次の欄に控えておいてください。
ユーザー名：

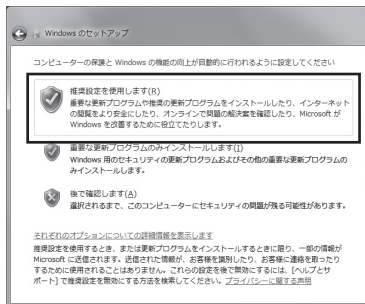
セットアップ作業をやりなおす(再セットアップする)など、パソコンのトラブルを解決する際に必要になる場合があります。
・ コンピュータ名が同じパソコン同士はネットワークで接続できません。コンピュータ名が同じパソコンがあるときは、別のコンピュータ名を入力してください。
・ 次の文字列は、パソコンのシステムで使われているため、入力しないでください。
CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9

参考

セットアップが終わってからユーザー名を追加、変更することもできます。

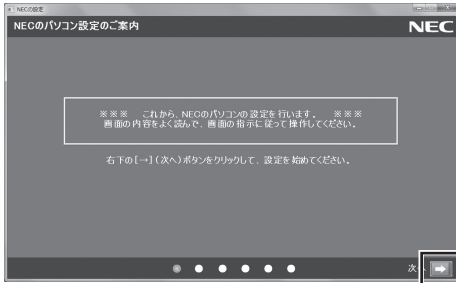
3 「次へ」をクリックする

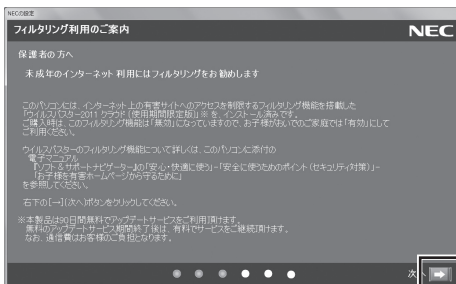
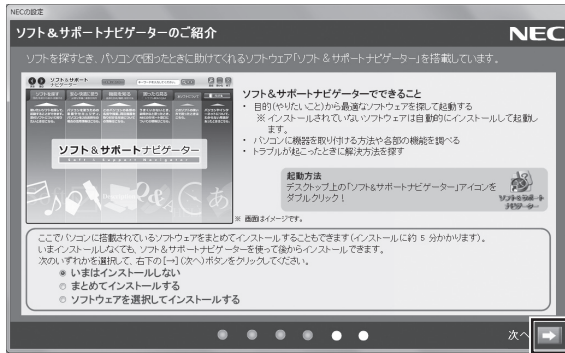
パスワードは、ここでは入力しないでください。

4 画面の内容を確認し、「ライセンス条項に同意します」の□をクリックして☑にし、「次へ」をクリックする

画面右のスクロールバーを上下に動かすことで、表示されていない文章を読むことができます。

5 「推奨設定を使用します」をクリックする

これでWindowsのセットアップは完了です。
続けてパソコンの設定をおこないます。次の画面が表示されるまでそのままお待ちください。

セットアップする

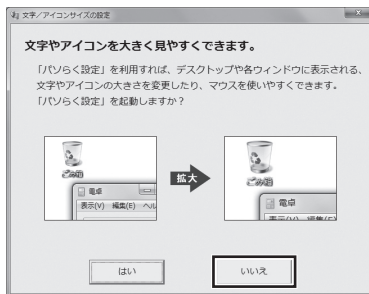
■NEC独自の設定をおこなう

1 「NECのパソコン設定のご案内」が表示されたら ➡ をクリックする

2 BIGLOBE ホームページまたはYahoo! JAPANホームページのいずれかを選んで ◉ にし、➡ をクリックする

3 注意文を読んで ➡ をクリックする

4 ➡ をクリックする

参考

・ミニマムソフトウェアパックをご購入の場合は、この画面は表示されません。手順5の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。
・はじめてパソコンを使われるかたのために、パソコンを活用するためのソフトをインストールすることもできます。画面の説明を読んで、必要に応じて「まとめてインストールする」や「ソフトウェアを選択してインストールする」の◯をクリックして◉にしてから、➡をクリックしてください。その後は画面の説明にしたがって操作してください。パソコンを活用するためのソフトは、セットアップが終わってからインストールすることもできます。

しばらくするとパソコンが再起動し、手順5の画面が表示されます。

5 「いいえ」をクリックする

参考

・文字サイズを拡大する設定をおこなう場合は、「はい」をクリックしてください。その後は画面の説明にしたがって操作してください。
・「パソらく設定」で設定を変更すると、ソフトにより正しく表示されないことがあります。その場合は、第4章の「文字やアイコンサイズの変更」(p.52)をご覧になり、設定を変更してください。

これでセットアップは完了です。次回からは、パソコンの電源スイッチを押すと、デスクトップ画面が表示されるようになります。

■セットアップの画面が表示されないときは

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F2 to Enter BIOS Setup」と表示された場合は、次の手順にしたがってください。

❶ **【F2】を押す**
BIOS(バイオス)セットアップユーティリティが表示されます。

❷ **【F5】、【F6】で時間(24時間形式)を設定し【Enter】を押す**
時刻の値は数字キーでも入力できます。

❸ **【Tab】や【↓】【↑】で項目を移動し、同様に分、秒、月、日、年(西暦)を設定する**

❹ **【F9】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

❺ **「はい」を選択し、【Enter】を押す**
BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

❻ **【F10】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

❼ **「はい」を選択し、【Enter】を押す**
BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

この後は、「Windowsをセットアップする」の手順2(p.10)をご覧になり、作業を続けてください。

Windowsのパスワードを設定する

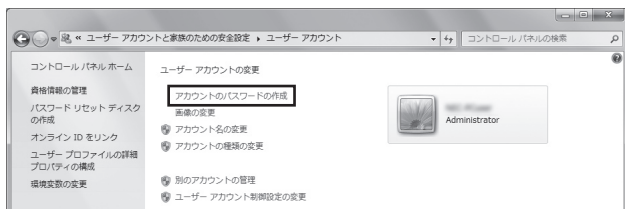
パソコン内の情報保護のため、パスワードを設定しておくことをおすすめします。
設定すると、電源を入れたときにパスワードの入力が必要になります。正しいパスワードが入力されないとパソコンを使うことができないため、第三者がパソコンを起動して情報を見ることを防ぐことができます。

■Windowsのパスワードを設定する

1 「 （スタート）」-「コントロールパネル」をクリックする

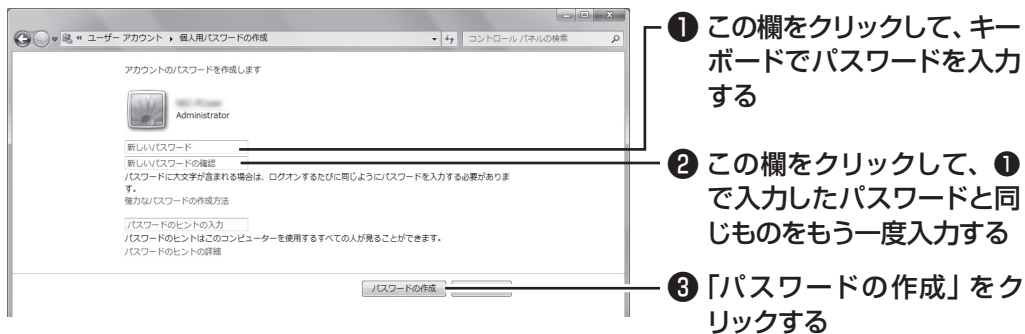
2 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックする

3 「Windowsパスワードの変更」をクリックする

4 「アカウントのパスワードの作成」をクリックする

5 パスワードを入力する

パスワードは次のように設定してください。大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。

参考

・入力したパスワードは「●●●」のように表示されます。これは、他人に見られてもわからないようにするためです。
・「パスワードのヒントの入力」欄に、パスワードを思い出すためのヒントを入力しておくことができます。パスワードを正しく入力できない場合にヒントを表示することができます。

これでWindowsのパスワードの設定は完了です。［×］をクリックして画面を閉じてください。

パスワードを忘れたときのために

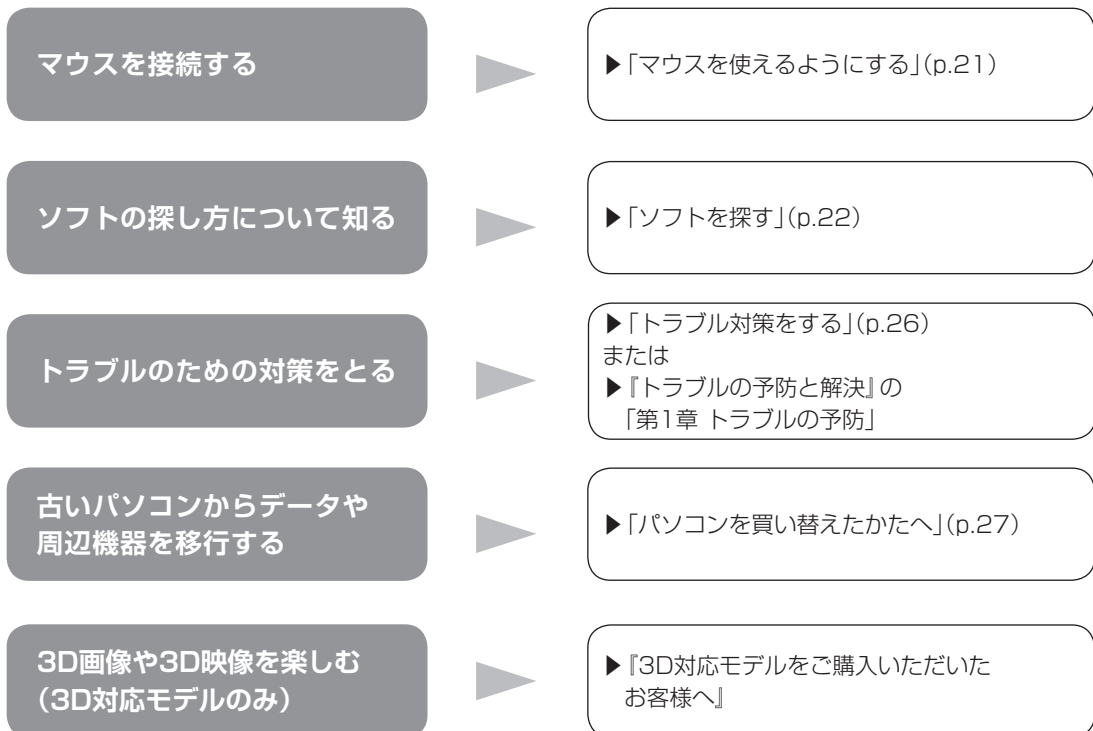
パスワードを忘れてしまうと、パソコンを使うために再セットアップが必要になります。万一に備えて「パスワード リセット ディスク」を作成しておきましょう。「パスワード リセット ディスク」を使うと新しいパスワードを作成することができます。「パスワード リセット ディスク」について詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

この後の操作について

続いてインターネットの設定をしてください。
なお、ワイヤレスTVデジタル添付モデルをご購入いただいたかたは、インターネットに接続する前にテレビの設定をおこなってください。
ここでいったんパソコンを終了したいかたは「パソコンを終了する」(次ページ)をご覧ください。

参照

- インターネットの設定をおこなう
  ▶「第3章 インターネットを始める」(p.29)
- テレビの設定をおこなう(ワイヤレスTVデジタル添付モデルをご購入いただいたかた)
  ▶『テレビを楽しむ本』

またパソコンをさらに安心・快適に使うためのいろいろな設定や作業について説明しています。ぜひご覧ください。

パソコンを終了する

画面の操作で電源が切れないときなど緊急の場合を除き、通常は、NXパッドやマウスを使ってパソコンを終了してください。本体のスイッチやボタンで終了しないでください。

■パソコンの電源を切る

1 「スタート」-「シャットダウン」をクリックする

画面が暗くなり、電源ランプが消灯します。これでパソコンを終了することができました。

再びパソコンを使い始める場合

▶「パソコンを使い始める」(p.20)

■「スタート」メニューの操作で電源が切れないとき

画面の表示が動かなくなったり、操作の途中でNXパッドやマウス、キーボードが反応しなくなったりして、パソコンの電源が切れなくなってしまうことがあります。その場合、次の方法で電源を切ることができます。

重要

- 強制的に電源を切る場合は、内蔵ドライブアクセスランプ( )やデュアルメモリースロットアクセスランプ( )などが点灯していないことを確認してください。また、各種メディアは取り出しておいてください。
- パソコン本体の電源スイッチを押し続けて強制的に電源を切ると、パソコンに負担がかかります。何度も繰り返すと、パソコンが起動しなくなってしまうこともあるため、この方法で電源を切ることは、できるだけ避けてください。

1 パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続ける

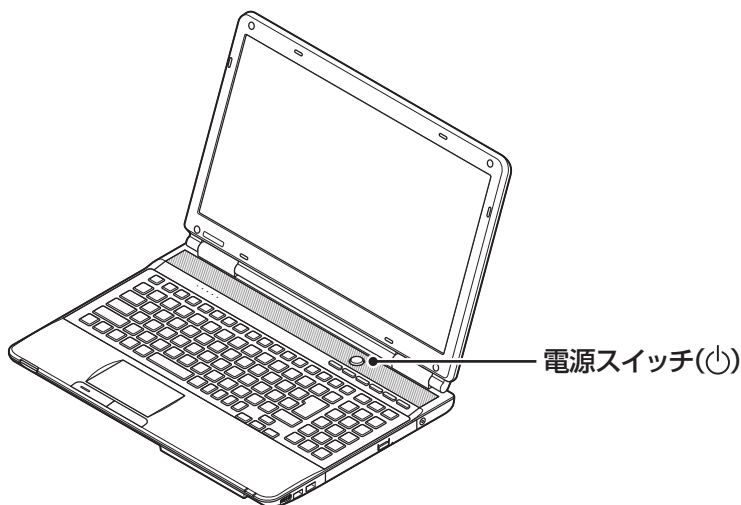
2 電源が切れてから5秒以上待ち、もう一度電源スイッチを押す

3 パソコンの電源が入ったら、改めて前ページの操作で電源を切る

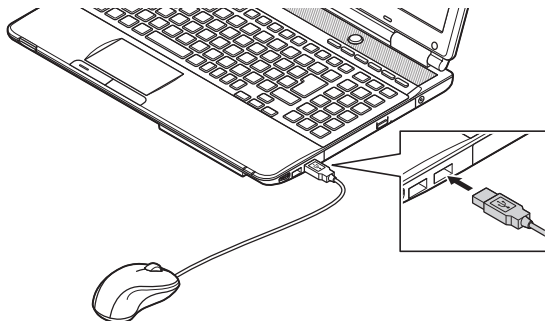
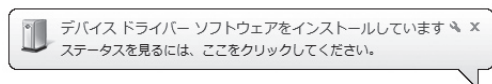
パソコンを使い始める

いったん電源を切ってから電源を入れなおすときは、電源が切れてから5秒以上待って電源スイッチを押してください。

■パソコンの電源を入れる

1 電源スイッチを押す

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力するための画面が表示されます。パスワードを入力し、➡をクリックしてください。
しばらくするとデスクトップ画面が表示され、パソコンを使い始めることができます。

マウスを使えるようにする

USBマウスが添付されているモデルでは、マウスを接続して使用できます。マウスのプラグの ⇐ の向きに注意して、パソコンのUSBコネクタに差し込んでください。

はじめてUSBマウスを差し込んだときは、画面右下に次のメッセージが出ると、画面の矢印を動かせるようになります。

マウスを動かすと、画面の矢印が動きます。うまく動かないときは、一度プラグを抜いて、もう一度差し込んでください。

このパソコンにUSBマウスを接続した場合、ご購入時の状態ではNXパッドを使用することができません。NXパッドを使用する場合は、USBマウスを取り外すか、NXパッドの設定を変更してください。

参考

マウスをUSB 3.0対応コネクタ(SS⇐ または SS⇐)に接続した場合は、再セットアップ、Windows修復機能の利用中にマウスを使用できません。

NXパッドの設定について
→「NXパッドの設定を変更する」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93030090 で検索

ソフトを探す

「ソフト＆サポートナビゲーター」を使うと、目的に合ったソフトを探して、起動することができます。
このパソコンでは、ハードディスクに入っていてもインストールされていないソフトは「スタート」メニューからも探すことができない場合があります。その場合にも「ソフト&サポートナビゲーター」を使うことで、ソフトを探して自動的にインストールしてから起動できます。

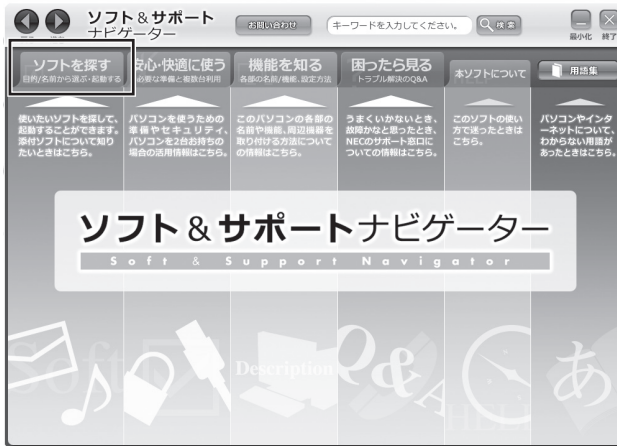
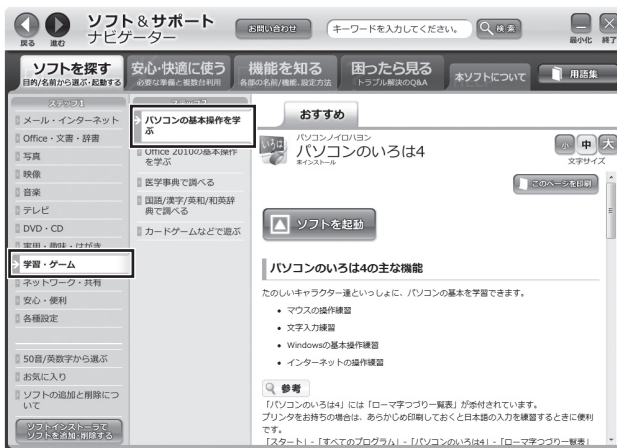
■ソフトを探して起動する

ここでは、例としてパソコンの使い方を学べるソフト「パソコンのいろは4」を探して起動します。

1 タスクバーの（ソフト&サポートナビゲーター）アイコンをクリックする

（ソフト＆サポートナビゲーター）をクリックする

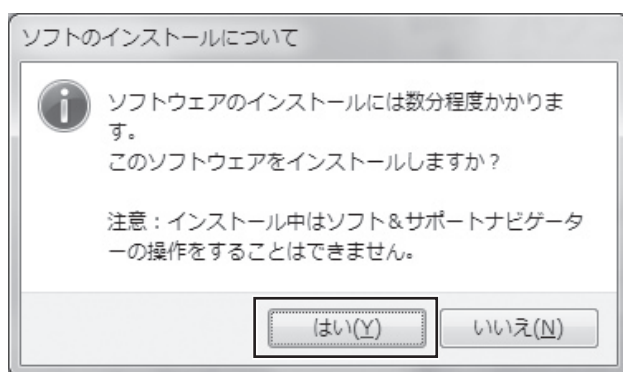
「ソフト&サポートナビゲーター」の最初の画面が表示されます。

2 「ソフトを探す」をクリックする

3 「学習・ゲーム」をクリックし、「パソコンの基本操作を学ぶ」をクリックする

4 「ソフトを起動」をクリックする

重要

・ソフト名の下に「インストール済み」と表示されているソフトの場合
→「ソフトを起動」をクリックするとすぐにソフトが起動します。

・ソフト名の下に「未インストール」と表示されているソフトの場合
→ハードディスクに入っていてもインストールされていないソフトです。「ソフトを起動」をクリックしてインストールしてから起動します。

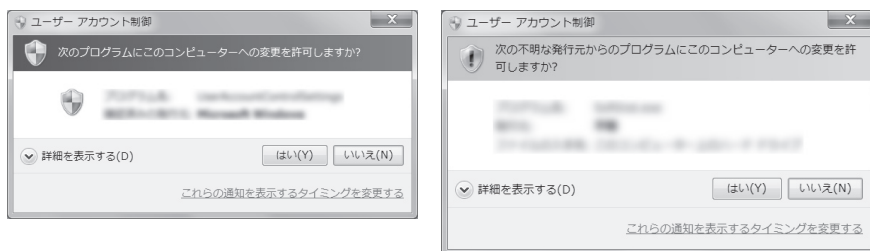
5 「はい」をクリックする

「ユーザー アカウント制御」が表示されます。

6 「ユーザー アカウント制御」が表示されたら「はい」をクリックする

インストールが開始されます。
インストールが終了すると、自動的に「パソコンのいろは4」が始まります。
これで「パソコンのいろは4」を起動することができました。
「パソコンのいろは4」を終了するには、画面に表示されている「終了」をクリックしてください。画面中央に確認の画面が表示されるので、「終了します」をクリックしてください。

次からは「ソフトを起動」をクリックしても、インストール作業なしにソフトを起動できます。また「スタート」メニューからも起動できます。

■ユーザー アカウント制御について

Windowsには、ユーザーの操作やプログラムの実行を監視し、処理を続行する前に画面を表示してユーザーの許可を求める「ユーザー アカウント制御」機能があります。
ソフトを起動したり、操作しているときに、次のような「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

※プログラムによっては、メッセージが異なることがあります。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「はい」をクリックしてください。不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたとき、キャンセルすることで被害を防げることがあります。
「標準ユーザー」でパソコンを使用しているときは、「ユーザー アカウント制御」画面で「管理者」のユーザーのパスワードを入力する必要があります。

トラブル対策をする

パソコンにトラブルが起こったときのために、あらかじめ対策をとっておくと被害を少なくできることがあります。ここではいくつかの対策を紹介します。詳しい手順や注意は『トラブルの予防と解決』の「第1章 トラブルの予防」で説明していますので、あわせてご覧ください。

■再セットアップディスクを作成する

トラブルがどうしても解決できないときにおこなう「再セットアップ」は、通常、ハードディスク内にある再セットアップ用データを使います。しかし、ハードディスクが故障した場合は、この方法で再セットアップすることができなくなります。そのような場合に備え、再セットアップディスクを作成しておき、そのディスクから再セットアップできるようにしておいてください。

再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

参照

再セットアップディスクの作成について
▶『トラブルの予防と解決』第1章の「再セットアップディスクを作成する」

■バックアップを取る

ハードディスクの故障や寿命によって、大切なデータが失われないように、データの控え(バックアップ)を残しておきましょう。このパソコンには、バックアップを取る際に手助けになるソフトが用意されています。

バックアップを取るための手順

バックアップの詳しい手順については『トラブルの予防と解決』で説明しています。第1章の「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの種類と方法)」をご覧ください。

パソコンを買い替えたかたへ

ここでは、パソコンを買い替えた場合に、古いパソコンからこのパソコンへソフトや周辺機器、データを移行する方法について説明します。

64ビット版Windows 7に対応していないソフトやドライバなどをインストールすると、不具合が起こる場合があります。移行する際には十分な確認をおこなってください。

■データを移行するには

このパソコンには、古いパソコンからデータを移行するために次のソフトが入っています。
・「Windows 転送ツール」
・「ファイナルパソコンデータ引越し」

「ファイナルパソコンデータ引越し」でのデータ移行の作業手順をご案内する動画を用意しています。
この動画では、データ移行に必要な準備や古いパソコンの設定方法などをわかりやすく解説しています。実際の移行作業の前に、デスクトップ画面にある「データ引越し動画ナビ」アイコンをダブルクリックし、動画をご覧ください。

移行できるデータには次のようなものがあります。

□ユーザーアカウント	□電子メール※	□ドキュメント
□お気に入りのサイト	□音楽･ビデオ･画像	□その他

※データ移行前にメールソフトを起動していた場合や、お使いのメールソフトの種類によっては、手動での設定(インポート)が必要になることがあります。詳しい設定方法については、「ファイナルパソコンデータ引越し」のヘルプをご覧ください。

移行のためのソフトについて
→「Windows 転送ツール」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 94131522 で検索

→「ファイナルパソコンデータ引越し」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 94061608 で検索

データを移行する

移行は次の順番でおこないます。

- データ移行の準備をする

データの移行にはUSBメモリーまたは外付けハードディスクなどにデータを転送する方法や、ネットワークを経由してデータを転送する方法などがあります。必要に応じてケーブルやハードディスク、LAN環境などを用意してください。

↓

- 移行のためのソフトをどちらか選んで起動する

↓

- 画面の表示にしたがい操作する

ソフトの説明をよく読んで操作してください。古いパソコンとこのパソコンの両方で操作が必要になる場合があります。

■ソフトを移行するには

ソフトの移行は次の順番でおこないます。ソフト自体に移行する機能がある場合は、ソフトに添付のマニュアルをご覧ください。

- ソフトが64ビット版Windows 7に対応しているかチェックする

メーカのホームページやマニュアルなどでソフトが64ビット版Windows 7に対応しているか確認します。対応していない場合、このパソコンでは利用できません。

↓

- ソフトのインストールに必要な情報を確認する

インストールする際にユーザー名やライセンスキーなどが必要な場合は、それらの情報をメモしておきましょう。

↓

- 使用していたパソコンからソフトをアンインストールする

アンインストールの方法については、ソフトに添付のマニュアルをご覧ください。

↓

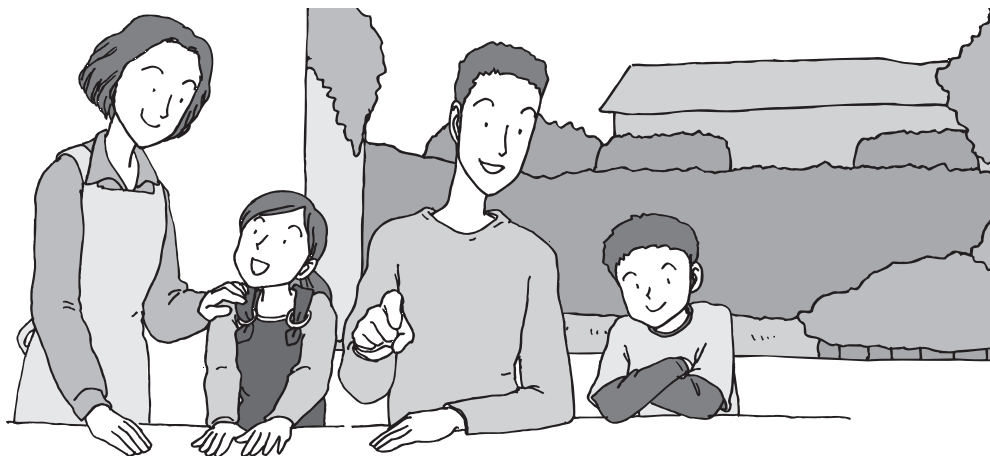
- このパソコンにソフトをインストールする

マニュアルなどをご覧になり、このパソコンにインストールしてください。必要に応じて、インストール後の設定作業をおこなってください。

■周辺機器を使えるようにするには

周辺機器の移行をする前に、メーカのホームページやマニュアルなどで機器が64ビット版Windows 7に対応しているか確認してください。最新のドライバ(周辺機器を利用するためのソフト)があればダウンロードしておき、接続が済んだらインストールをしてください。周辺機器の取り外しや接続については、機器のマニュアルをご覧ください。

準備編

第3章

インターネットを始める

この章では、インターネットを利用するための設定やウイルス対策について説明します。設定に必要なものについて確認し作業を進めてください。

インターネットに接続する前に

重要

- このパソコンでは、ダイヤルアップ接続はご利用になれません。
  回線の変更については回線事業者にお問い合わせください。
- はじめてインターネットを始めるかたはプロバイダへの入会が必要です。プロバイダへの入会については各プロバイダにお問い合わせください。

ワイヤレスTVデジタル添付モデルをご購入いただいたかた

最初にワイヤレスTVデジタルの初期設定を済ませる必要があります。ワイヤレスTVデジタルの設定とインターネットの設定について詳しくは『テレビを楽しむ本』をご覧ください。テレビとインターネットの設定が終了したら「電子メールを設定する」(p.39)に戻り、設定を続けてください。

■設定に必要なもの

プロバイダに入会し回線が開通したら、インターネットに接続するために必要なものを用意してください。

□ **回線事業者やプロバイダから入手した資料**
プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手した接続設定用説明書やCD-ROMなどがある場合、その説明書やCD-ROMにしたがって設定をおこなってください。

□ **回線終端装置**

□ **ワイヤレスLANルータ(ワイヤレスTVデジタル添付モデルを除く)**
このマニュアルではワイヤレスLANを使ってインターネットに接続する例で説明します。モデルにより、使用できるワイヤレスLANの種類は異なります。次の表で確認してください。

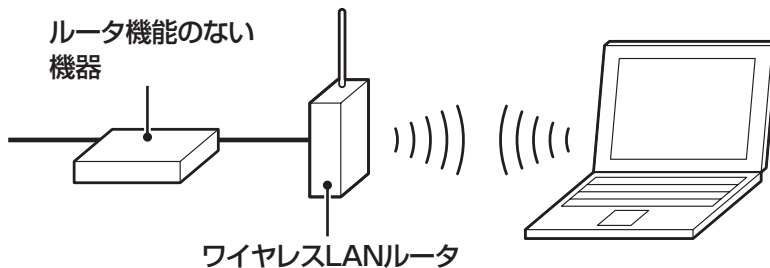
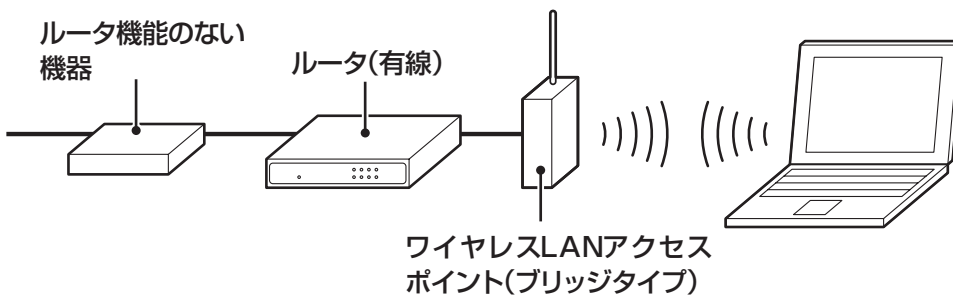
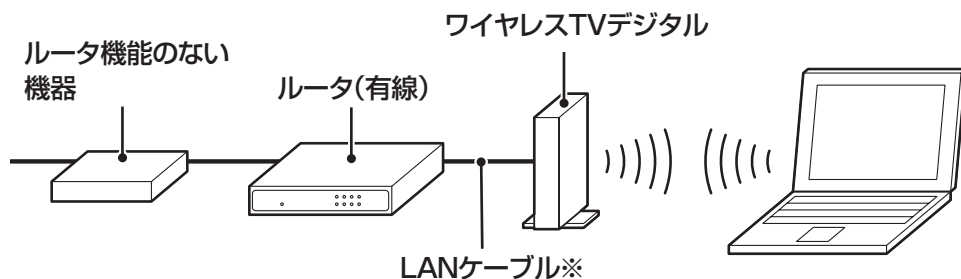
	IEEE802.11a (5GHz)	IEEE802.11b/g	IEEE802.11n (2.4GHz)	IEEE802.11n (5GHz)
高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル	○	○	○	○
高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	×	○	○	×

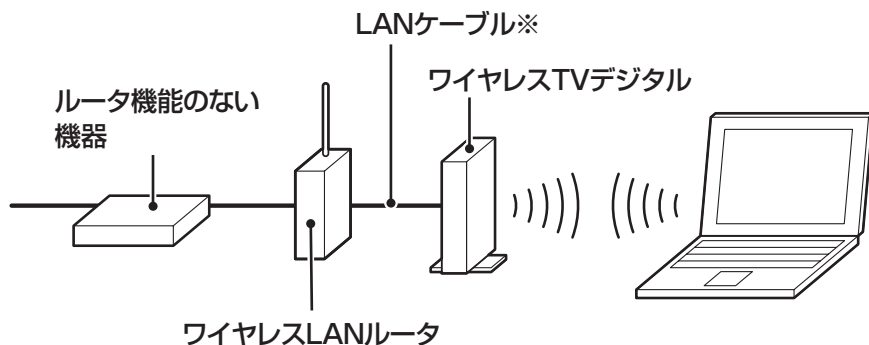
・ 機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。
・ ワイヤレスTVデジタルは、ワイヤレスLANアクセスポイント機能を持ちますがルータ機能がありません。ご契約のプロバイダによっては、別途ルータ機能のある機器（ルータやルータ機能つきモデムなど）が必要となる場合があります。

■機器を接続する

回線終端装置とネットワーク機器を次のように接続してください。

・ プロバイダから送られてくる接続機器（回線終端装置など）にルータ機能が内蔵されている場合、ルータの設定が不要な場合があります。詳しくはプロバイダから入手した説明書などを確認してください。
・ 詳しい接続方法については、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧ください。

ワイヤレスLANルータと接続する場合

ワイヤレスLANアクセスポイント（ブリッジタイプ）と接続する場合

ワイヤレスTVデジタルと接続する場合(ルータ(有線)をお使いのとき)

※ルータとワイヤレスTVデジタルはまだ接続しないでください。実際の接続は、『テレビを楽しむ本』のPART3をご覧ください。

ワイヤレスTVデジタルと接続する場合(ワイヤレスLANルータをお使いのとき)
ワイヤレスLANルータの場合、ワイヤレスLANルータのLANポートとワイヤレスTVデジタルをLANケーブルで接続します。

※ルータとワイヤレスTVデジタルはまだ接続しないでください。実際の接続は、『テレビを楽しむ本』のPART3をご覧ください。

参考

プロバイダから送られてくる機器がルータ機能付きである場合や、機器とワイヤレスLANアクセスポイントの間にルータ(有線)を接続している場合は、通信が不安定になる場合があるため、ワイヤレスLANアクセスポイントのルータ機能を停止することをおすすめします。ルータ機能を停止する設定方法については、各ワイヤレスLANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

■ルータの設定をする

はじめてインターネットに接続する場合は、ルータにプロバイダから送られてきた接続情報が設定、登録されていないと、インターネットに接続できません。詳しくは、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧になり設定してください。

機器の接続の設定が終わったらパソコンの設定を変更します。
ワイヤレスTVデジタル添付モデルの場合は、『テレビを楽しむ本』PART3へ進んでください。

インターネットに接続する

プロバイダへの入会やネットワーク機器との接続が完了したら、パソコンの設定を変更してインターネットに接続します。このマニュアルではワイヤレスLANを使ってインターネットに接続する例で説明します。

CATV(ケーブルテレビ)接続を利用されていたかたは、ご契約のケーブルテレビ局にパソコンを買い替えたときの設定方法についてお問い合わせください。

有線LANを使ってインターネットに接続する場合
→「LANについて」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索

■アクセスポイントの情報を確認する

パソコンの設定では、接続するワイヤレスLANアクセスポイントのネットワーク名(SSID)、セキュリティキーが必要になります。設定を確認して次の欄に設定を控えてください。

ネットワーク名(SSID)	セキュリティの種類
暗号化の種類※	セキュリティキー

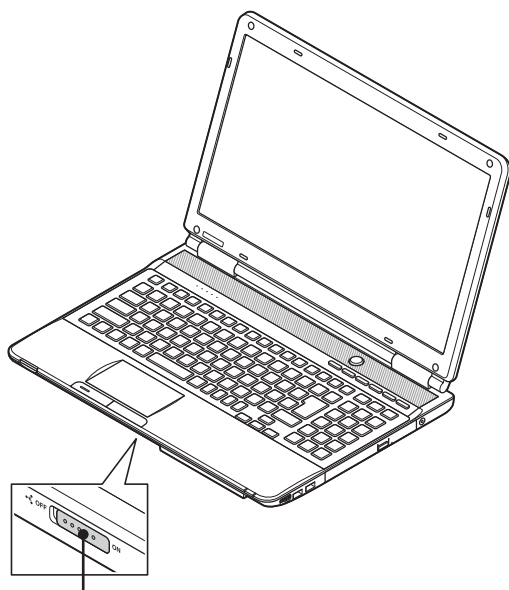
※セキュリティの種類によっては、暗号化の種類を設定しない場合があります。

参考

セキュリティキーは、接続するワイヤレスLANアクセスポイントのメーカにより「暗号化キー」「ネットワークキー」「WEPキー」「WPAキー」などと呼ばれている場合があります。

■ワイヤレスLAN機能を確認する

ワイヤレスLAN機能のオン/オフの切り換え

インターネットに接続するときは、ワイヤレスLAN機能がオンである(ワイヤレススイッチがオンになっている)ことを確認してください。ご購入時にはワイヤレスLAN機能はオンの状態になっています。
ワイヤレスLAN機能はワイヤレススイッチをスライドさせることでオン/オフを切り換えられます。

ワイヤレススイッチ

■パソコンの設定をする

ルータとの接続を設定するためにパソコンの設定を変更してください。
ここでは、ワイヤレスLANルータ(もしくはアクセスポイント)を手動で追加する方法を説明しています。
ここで説明する方法以外にもワイヤレスLANアクセスポイントを自動でスキャンしてから接続する方法にも対応しています。

ワイヤレスLANアクセスポイントをスキャンして接続する場合
→「ワイヤレスLAN接続の設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100140 で検索

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

コントロールパネルが表示されます。

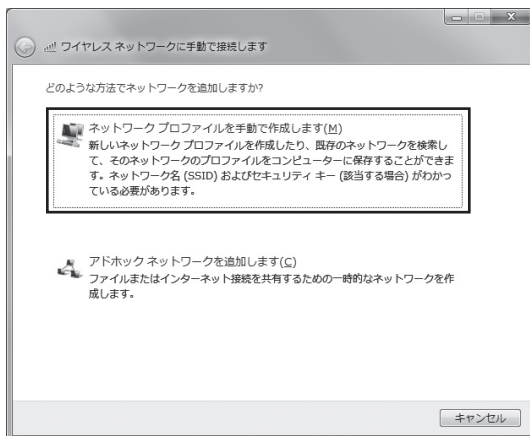
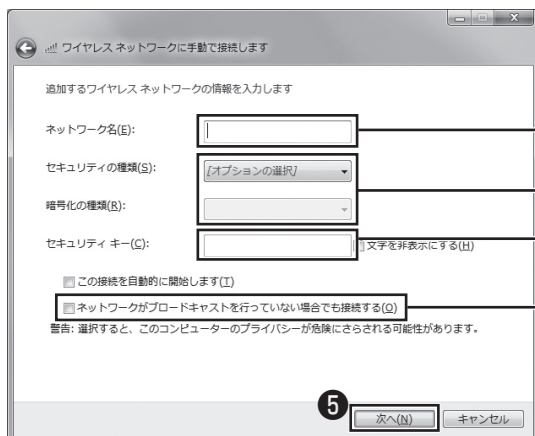
2 「ネットワークとインターネット」をクリックする

3 「ネットワークと共有センター」をクリックする

「ネットワークと共有センター」が表示されます。

4 「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックする

5 「追加」をクリックする

6 「ネットワークプロファイルを手動で作成します」をクリックする

7 確認したアクセスポイントの情報を使って、接続するネットワークの情報を入力し、「次へ」をクリックする

重要

ワイヤレスLANはセキュリティの対策をしっかりしないと外部からネットワークに入られて無断で利用され、情報を読まれてしまう危険があります。ワイヤレスLANを使うときは暗号化など、セキュリティをしっかり設定してください。

参照

ワイヤレスLANのセキュリティについて
→「ワイヤレスLANのセキュリティに関するご注意」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100120 で検索

8 「閉じる」をクリックする

ワイヤレスLANが接続され、デスクトップ画面右下の通知領域にが表示されます。
「ネットワークの場所の設定」の画面が表示された場合は、画面の説明を読んで設定してください。

これでインターネットに接続するための設定は終わりです。
タスクバーの(Internet Explorer)アイコンをクリックし、接続を試してください。

参照

ワイヤレスLAN通信がうまくいかない場合には、『トラブルの予防と解決』第3章の「インターネットに関するトラブルのとき」をご覧ください。

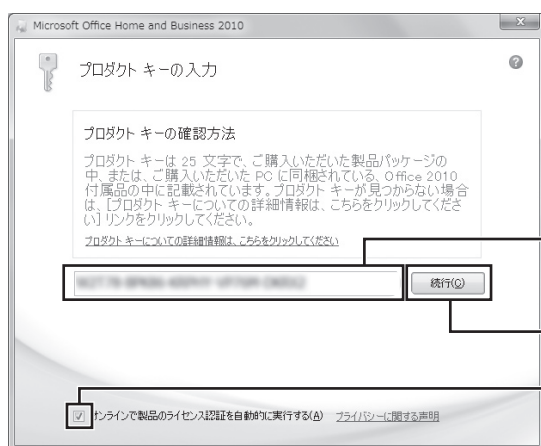
Office 2010モデルをご購入いただいたお客様へ

参考

ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。

「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動したときに、プロダクトキー入力やライセンス認証が必要となります。

■プロダクトキーの入力について

「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動したときに、プロダクトキーを入力する必要があります。

画面はモデルによって異なります。

重要

- プロダクトキーは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージの中に入っているDVD-ROMケースに記載されています。
- 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」が表示された場合は、条項の内容に同意のうえ、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

■ライセンスの認証について

お使いのパソコンがインターネット接続できる状態になっていれば、プロダクトキーの入力後、自動でライセンス認証が実行されます。インターネット接続できない場合、「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動した日から、30日以内にインターネット経由またはMicrosoft社のライセンス認証専用窓口へ電話でライセンス認証をおこなう必要があります。ライセンス認証について、詳しくは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージに同梱されている、『お使いになる前に』をご覧ください。

重要

・30日以内にライセンス認証を実施しないと、機能制限モードとなりライセンス認証をおこなうまで使用できる機能が制限されます。
・再セットアップなどで「Microsoft Office 2010」を再インストールする場合、プロダクトキー入力やライセンス認証も再度必要となります。「Microsoft Office 2010」のパッケージは大切に保管してください。

電子メールを設定する

電子メールの設定のしかたについては「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

参照

・電子メールを設定するには
→「Outlook 2010の設定」(Office 2010モデルのみ)
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91065010 で検索

→「Windows Live メールの設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91065020 で検索

・メールの設定がうまくいかないときやほかのパソコンからメールのデータを移行したいときは
→「メール接続」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92060040 で検索

→「メール操作・設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92060050 で検索

続けてウイルス対策をしてください。

ウイルス対策をする

ウイルスなどの不正プログラムからパソコンを守るためには、定期的な対策が必要です。このパソコンにはウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」がインストールされています。「ウイルスバスター」でウイルス対策を始めるための手順について詳しくは、「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

ウイルス対策を始めるための詳しい手順について
→「ウイルス対策ソフトを使い始める」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91040020 で検索

重要

- ご購入後、パソコンの使用を始めてから3日間はユーザー登録をしていなくても試用することができます。4日目からも試用したい場合にはユーザー登録をしてください。ユーザー登録をした日からさらに90日間、無料で試用できます（その間、アップデートは自動的におこなわれます）。90日間の無料期間を過ぎると、すべての機能が利用できなくなり、セキュリティ対策をおこなうことができません。無料期間終了後も継続してご利用いただくには、ダウンロード販売またはパッケージなどの製品版を購入し、シリアル番号を入力していただく必要があります。
- ユーザー登録やクラウドを使用したウイルスチェックはインターネット接続が必要となるため、インターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯端末など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。

■その他のセキュリティ対策について

「ウイルスバスター」のほかに、パソコンを保護するために、次のようなセキュリティ対策があります。

●Windows Updateをする

このパソコンのWindowsの状態などをチェックし、更新プログラムを無料配布するMicrosoftのサポート機能です。ご購入時の状態では、Windowsの更新プログラムの自動更新機能が有効に設定されています。インターネット経由でWindowsを最新の状態にし、ウイルスや不正アクセスに備えることができます。

→「Windowsの更新」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91060010 で検索

●ファイアウォール機能を使う

ファイアウォール機能とは、外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能のことです。このパソコンでは「Windowsファイアウォール」に加え「ウイルスバスター」のファイアウォールチューナー機能を追加で使うことができます。セットアップ後には「Windowsファイアウォール」が有効になっています。

→「不正アクセスの防止」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91050010 で検索

「ソフト&サポートナビゲーター」ではこのほかに、ワイヤレスLANの通信の暗号化やお子様を有害ホームページから守るための方法など、さまざまなセキュリティ対策について説明しています。ご使用の状況に合わせてご覧ください。

→「安全に使うためのポイント(セキュリティ対策)」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91030010 で検索

お客様登録のお願い

「お客様登録」とは、お名前、電話番号、パソコンの型番、製造番号、購入年月日などの情報を、121wareに登録することです。

■登録のメリット

1 登録料・会費無料

登録料や会費は無料です。法人のお客様としてご使用の場合も、登録をおすすめします。

2 電話での「使い方相談」※

無料で1年間、使い方の相談ができます。

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)からお電話をさしあげる「電話サポート予約サービス」も利用可能になります。

次のURLから予約ができます。

http://121ware.com/support/reserve-tel/

※使い方相談のご利用には、お客様登録が必要です。

※パソコン本体以外の商品／ NEC Refreshed PC(再生パソコン)の「使い方相談」の無料期間は、各商品の保証書に記載の保証期間となります。

3 あなただけのマイページ

登録した商品を元に、あなたのパソコンに合ったサポートやサービスに関する情報が表示されます。

4 NEC Directの優待サービス＆ポイントもGet

NEC Directの優待サービスでお買い物。ポイントももらえます。

※サービス内容などは予告なしに変更される場合があります。

お客様登録の方法について

▶『トラブルの予防と解決』第5章の「お客様登録のお願い」

▶121ware.com(http://121ware.com/my/)でも詳しくご紹介しています。

■お客様登録に関するお問い合わせ先

「121ware(ワントゥワンウェア)登録センター」

電話: フリーコール 0120-469-121(携帯電話・PHSでもご利用になれます)

受付時間:9:00～17:00(土・日・祝日、および弊社休業日を除く)

※:システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。

サービス内容などは予告なしに変更することがあります。最新の情報については、NECパーソナル商品総合情報サイト121ware(http://121ware.com/)をご覧ください。

基本編

第4章

基本機能

この章では、音量の調節や消費電力を抑える方法、メモリーカードやDVDなどのディスクをセットする方法など、このパソコンを使うときのもっとも基本的な操作を説明します。

ソフト＆サポートナビゲーター（画面で見るマニュアル）

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、パソコンの詳しい使い方を知りたいときや困ったときに役立つ、画面で見るマニュアルとしての機能を持っています。また目的に合ったソフトを探して使い方を見たり、そのままインストールや起動をしたりすることができます。「ソフト＆サポートナビゲーター」は次のようなときに便利です。

- Windowsの便利な使い方を知りたい。
- 目的に合ったソフトを探したり、見つけたソフトをすぐに起動したい。
- うまくいかないときや、故障かな？と思ったときの対処法を知りたい。
- パソコンの省電力機能や表示機能など、パソコンの機能についてより詳しく知りたい。
- 用語集でわからない単語の意味を調べたい。

ソフト＆サポートナビゲーターを起動する

タスクバーの（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリックして起動します。

（ソフト＆サポートナビゲーター）をクリックする

「ソフト＆サポートナビゲーター」の最初の画面が表示されます。

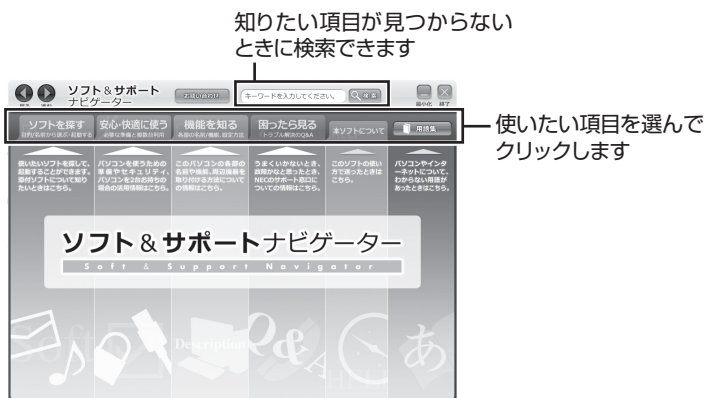
参考

デスクトップにある「ソフト＆サポートナビゲーター」のアイコンをダブルクリックするか、キーボード上部にあるソフトボタンを押すことでも起動できます。

ソフト＆サポートナビゲーターを使う

知りたい項目があるときは項目を選んでクリックします。「ソフト＆サポートナビゲーター」で知りたい項目が見つからないときは、キーワードを入力して「検索」をクリックします。

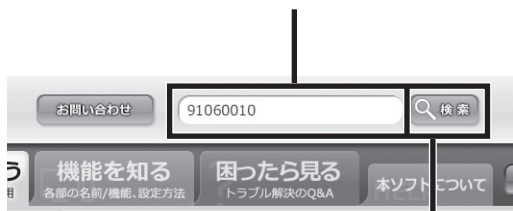
知りたい項目が見つからないときに検索できます

使いたい項目を選んでクリックします

画面はモデルによって異なります。

番号検索について

マニュアルに出てくる検索番号を「ソフト＆サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例)検索番号が「91060010」の場合

❶マニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を入力する

❷「検索」をクリックする

参考

はじめて検索をおこなうときは、CyberSupport for NECの「使用許諾契約書」が表示されます。内容をよく読み、「同意する」をクリックしてください。クリック後、検索が再開されますので少しお待ちください。

おすすめメニューNavi

このパソコンには、パソコンの機能をやりたいことから探したり、インターネットで知りたい情報を検索したりできる「おすすめメニューNavi」が用意されています。「おすすめメニューNavi」では、検索のほかにも、よく使うソフトをすぐに使えるように登録することや、お好みの情報をいつでも表示しておくことなどもできます。各パレットには、主に次の機能があります。操作方法など詳しくは「おすすめメニューNavi」のヘルプをご覧ください。

設定パレット

「おすすめメニューNavi」全体や各パレットの表示や動作などの設定を、お好みに変更できます。

検索パレット

このパソコンの中やインターネット、マニュアルから、知りたい情報を検索できます。
アイコンをクリックするだけで、簡単に検索対象を切り換えることができるので、このパレットのみで、さまざまな検索が可能です。

起動パレット

クリックするだけで、ソフトやファイル、インターネット上のサービスなどを使い始めることができます。あらかじめ登録されたものだけでなく、お好みに合わせ、よく利用するショートカットなどを登録して使うこともできます。

情報パレット

写真のスライドショーや、天気予報、ニュースなどのインターネット上の情報を表示させることができます。「おすすめメニューNavi」に登録されているソフトやインターネットサービスの説明も表示されます。

パソコンのいろは4(パソコン練習ソフト)

「パソコンのいろは4」を使って、パソコンやWindows 7の基本操作を学ぶことができます。

「パソコンのいろは4」とは

初心者のかたがパソコンを学ぶためのソフトです。マウスやキーボードの使い方からホームページの見方といった「パソコンのいろは」を学ぶことができます。パソコンやWindowsの基本操作をまず覚えたいかたは、「パソコンのいろは4」で学習を始めてください。

「パソコンのいろは4」を起動する

1 **「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソコンのいろは4」の「ソフトを起動」をクリックする**

自動的に「パソコンのいろは4」が始まります。
ソフトがインストールされていない場合は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

「パソコンのいろは4」を終了する

画面に表示されている「終了」をクリックしてください。画面中央に確認の画面が表示されるので、「終了します」をクリックしてください。

参考

- ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。
- Office 2010モデルでは「Microsoft Office 2010」の操作も学習できます。

参考

「Microsoft Office 2010」の操作を学習したいときは、「パソコンのいろは4 Office 2010編」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94091808 で検索)の「ソフトを起動」をクリックします。
ソフトがインストールされていない場合は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

省電力機能

このパソコンでは、操作していない時間が続くとき、消費電力を節約するために自動的に画面を暗くするなど、省電力機能が設定されています。

省電力状態の概要

次の省電力状態で消費電力が節約できます。

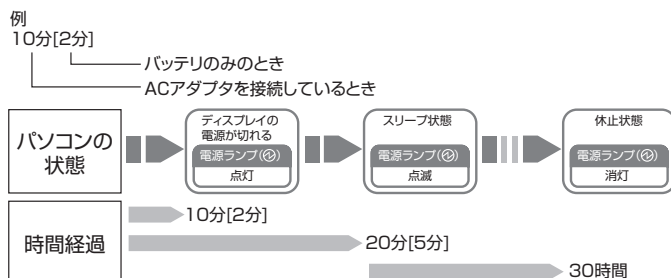
● **次の時間の経過後ディスプレイを暗くする**
Windows 7では、パソコンを使用しないでしばらくすると画面は自動的に暗くなります。ご購入時では、5分(バッテリのみで使用の場合は1分)に設定されています。

● **ディスプレイの電源を切る**
何も操作しない状態が続いたとき、ディスプレイの電源を自動的に切る時間が設定できます。ご購入時は、10分(バッテリのみで使用の場合は2分)でディスプレイの電源が切れるように設定されています。

● **スリープ状態にする**
ディスプレイの電源が切れてからも、操作しない状態が続いたとき、ハードディスクなどの電源を切って消費電力を節約するように設定できます。ご購入時は20分(バッテリのみで使用の場合は5分)でスリープ状態になるよう設定されています。

● **休止状態にする**
パソコンの状態や作業中のデータをディスクに保存した上で、Windowsは終了せずにパソコンの電源を切るように設定できます。ご購入時には、スリープ状態に移行してから30時間で自動的に休止状態になります。

操作していない時間と省電力状態の概要

● **パソコンを使っていない時間と省電力状態**

参照
省電力機能の詳細、設定の変更について
→「省電力機能」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010で検索

参考
ご購入時、このパソコンにはハイブリッドスリープが設定されています。ハイブリッドスリープとは、スリープ状態になるとき、ハードディスクに作業中のデータを保存するような設定です。スリープ状態時に電源コードが抜けるなどの不測の事態が発生しても、問題なく作業を再開することができます。

画面が暗くなったときには

省電力機能で画面が暗くなっているときは、キーボードのキー(【Shift】など)を押してください。
それでも画面が明るくならないときは、電源スイッチを軽く1回押してください。

電源ランプ

パソコンの電源の状態は電源ランプでわかります。

●電源ランプ(⏻)と電源の状態

電源ランプの状態	パソコンの状態
白色に点灯	電源が入っている
白色に点滅	スリープ状態
オレンジ色に点灯	ACアダプタを外しているときに電源が入っていて、バッテリ残量が少ない
オレンジ色に点滅	ACアダプタを外しているときに次のいずれかの状態 1:電源が入っていて、バッテリ残量があとわずか 2:スリープ状態で、バッテリ残量が少ない、またはあとわずか
消灯	電源が切れている、または休止状態※

※バッテリ残量が少ないままバッテリの電源のみでパソコンを使い続けると、バッテリ残量が少ないというメッセージが表示されます。その後しばらくすると自動的に休止状態になり、電源ランプが消灯します。

リモコンでスリープ状態にする

リモコン添付モデルでは、リモコンの【電源】を押すと、パソコンをスリープ状態にしたり、スリープ状態から復帰することもできます。

重要

テレビの視聴中やほかのソフトを起動しているときは、電源を切る前に【アプリ終了】を押して、終了させてください(ワイヤレスTVデジタル添付モデルのみ)。

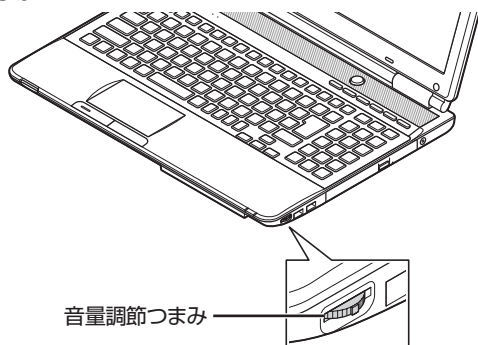
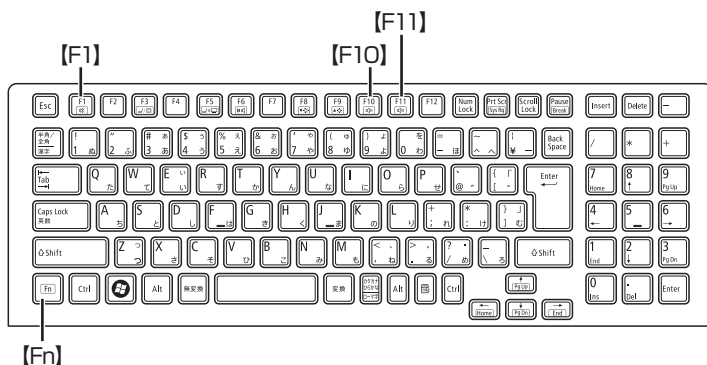
参考

パソコンの電源が切れているときや、スリープ状態から休止状態に移行した場合はリモコンの【電源】からは復帰できません。

音量や画面の明るさの調節

音量の調節

パソコンの音が大きすぎたり、小さすぎたりすると感じるときは、本体右側面にある音量調節つまみやキーボード、リモコン(リモコン添付モデル)で内蔵スピーカの音量を調節することができます。

●音量調節つまみ

音量調節つまみを手前側にまわすと、音が小さくなります。
音量調節つまみを奥側にまわすと、音が大きくなります。
つまみを押し込むと音声のオン/オフが切り換えられます。画面右下の通知領域にが表示されているときは音声が消え、が表示されているときは音声が聞こえます。

●キーボード

【Fn】を押しながら【F10】を押すと、音が小さくなります。
【Fn】を押しながら【F11】を押すと、音が大きくなります。
【Fn】を押しながら【F1】を押すと音声のオン/オフが切り換えられます。画面右下の通知領域にが表示されているときは音声が消え、が表示されているときは音声が聞こえます。

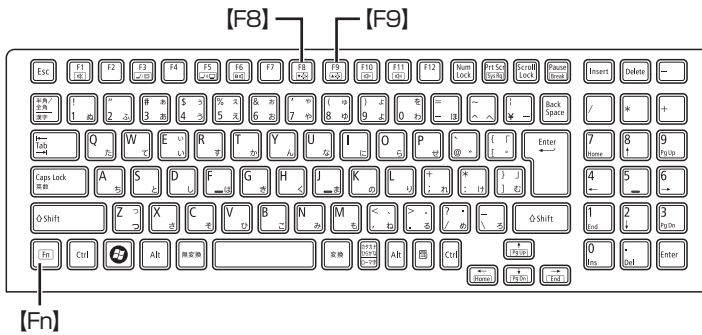
参考
起動しているソフトによっては、キーボードから音量を変更しても、音量の表示が変わらない場合があります。

●リモコン

【音量】のーを押すと、音が小さくなります。
【音量】の＋を押すと、音が大きくなります。
【消音】を押すと音声のオン/オフが切り換えられます。画面右下の通知領域にが表示されているときは音声が消え、が表示されているときは音声が聞こえます。

画面の明るさの調節

パソコンの画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると感じるときは、キーボードのキーを使ってディスプレイの輝度(画面の明るさ)を調節することができます。

【Fn】を押しながら【F9】を押すと、明るくなります。
【Fn】を押しながら【F8】を押すと、暗くなります。

参考

パソコンを使用しないでしばらくすると、画面は自動的に暗くなります。

文字やアイコンサイズの変更

画面の文字が小さいときなどに、文字やアイコンの大きさを変更できます。

「パソらく設定」で変更する

「パソらく設定」はWindowsの設定の変更をお手伝いするソフトです。

1 **「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソらく設定」の「ソフトを起動」をクリックする**

「パソらく設定」が起動します。

2 **「画面の表示を見やすくする」の「設定画面へ」をクリックする**

3 **好みのサイズを選んでクリックする**

選択されたサイズのボタン上に「○」が表示されます。

4 **「終了」をクリックする**

5 **「保存して終了」をクリックする**

6 **「今すぐログオフ」をクリックする**

ズームボタンで変更する

キーボード上部のズームボタンを使うと、Internet ExplorerやOutlook 2010などズーム機能に対応しているソフトで、文字サイズを変更できます。

参考

- 「標準(100%)」以外の文字を選択した場合、画面の一部が切れて表示されないことがあります。画面の大きさ(ウィンドウサイズ)の変更や操作ができなくなった場合は、文字サイズを小さく設定してください。
- 「パソらく設定」では、文字やアイコンの大きさを変更するほかに、デスクトップの壁紙やスクリーンセーバーの変更もできます。
- 変更した設定をもとに戻すときは、「パソらく設定」のトップページで「購入時の設定に戻す」の「設定画面へ」をクリックし、表示された画面で「戻す」をクリックしてください。以降の操作は、画面の指示にしたがってください。

参照

ズームボタンについての注意や、動作するソフトについて

→「キーボード上部のボタンなど」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93040040で検索

メモリーカード

使用できるメモリーカードの種類

このパソコンでは、次のメモリーカードを使用することができます。

・SDメモリーカード
・SDHCメモリーカード
・SDXCメモリーカード
・メモリースティック デュオ
・メモリースティック PRO デュオ

参照

メモリーカードやアダプタの形状、注意事項などの詳細について
→「デュアルメモリースロット」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015105 で検索

市販のアダプタが必要なメモリーカード

miniSDカード、microSDカード、メモリースティック マイクロ(M2)は必ず市販のアダプタにセットしてから、スロットに差し込んでください。

重要

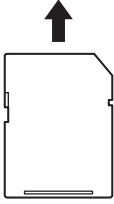
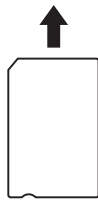
・必ずアダプタにセットしてから使用してください。市販のアダプタを使用せずそのままメモリースロットに差し込むとメモリーカードが取り出せなくなります。
・各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。

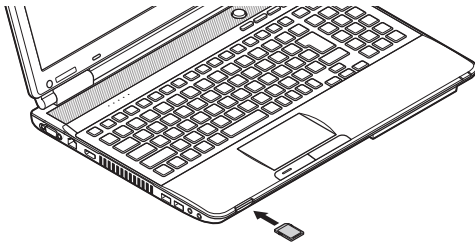
メモリーカードを使用するときの注意

・メモリーカードの取り扱い上の注意については、添付の『安全にお使いいただくために』を参照し、あらかじめ確認してください。
・NECでは市販のメモリーカードに関する動作保証やサポートはおこなっていません。販売元にお問い合わせください。
・メモリーカードの説明書などをよく読んでから使用してください。

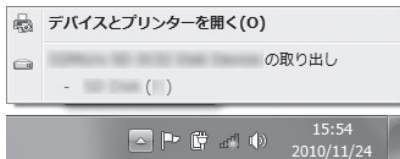
メモリーカードをセットする

1 メモリーカードを差し込む向きを確認する

メモリーカードはそれぞれ次の図の向きで差し込んでください。

SDメモリーカード
SDHCメモリーカード
SDXCメモリーカード

メモリースティック デュオ
メモリースティック PRO デュオ

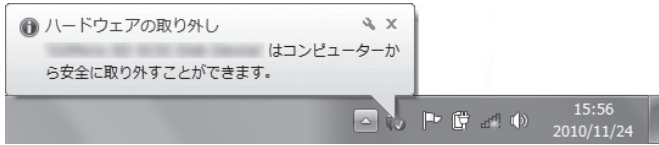
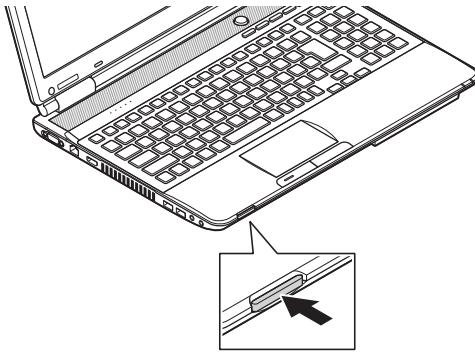
2 メモリーカードを差し込む

メモリーカードを取り出す

1 画面右下の通知領域にある をクリックして隠れているアイコンを表示させ、 または をクリックする

接続されている機器のリストが表示されます。

重要

- メモリーカードには表面と裏面があります。またスロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、メモリーカードの説明書をご覧ください。
- メモリーカードは誤った操作方法で取り扱わないでください。誤った操作によってパソコンが故障した際は、有償での修理となる場合がありますのでご注意ください。

2 「xxxx(取り外す機器名)の取り出し」をクリックする

「xxxxはコンピューターから安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されます。

3 メモリーカードを軽く押す

メモリーカードが少し出てきます。

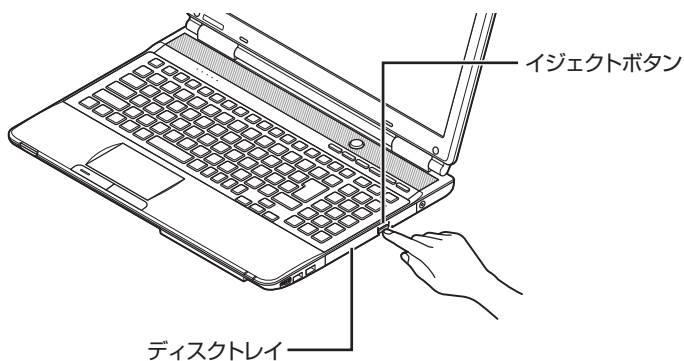
4 メモリーカードを水平に引き抜く

重要

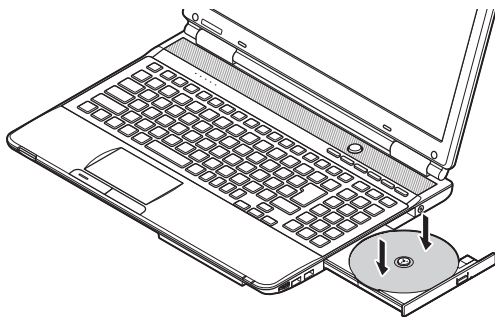
デュアルメモリースロットアクセスランプ(□)点灯中は、メモリーカードを絶対に取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因になります。

ディスク(DVD/CDなど)

ディスクをセットする

1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。

2 ディスクトレイを手で引き出す

3 ディスクのデータ面(表裏にご注意ください)を下にしてディスクトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりはめ込む

4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

重要

- CDやDVDなどの取り扱い上の注意については、添付の『安全にお使いいただくために』を参照し、あらかじめ確認してください。また、すべてのCDやDVDの動作を保証することはできません。
- ブルーレイディスクドライブモデルで使用できるブルーレイディスクも、CDやDVDと同じように扱います。
- ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
- DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

参考

イジェクトボタンを押してからディスクトレイが出てくるまでに数秒かかることがあります。

重要

- 8cmと12cmのディスクが利用できます。
- 星型や名刺型などの円形ではない異形ディスクや、規格外に容量の大きな書き込みディスクなどは利用できません。

参照

使用できるディスクやデータ形式について

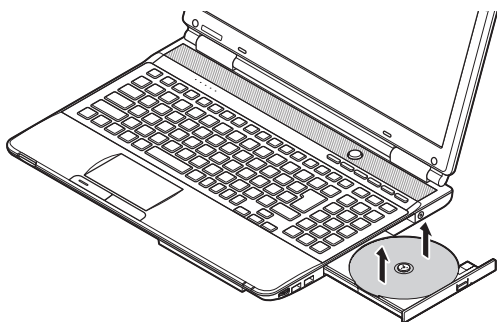
→「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93070010 で検索

ディスクを取り出す

1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。

2 ディスクトレイを手で引き出す

3 ディスクを取り出す

4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

CPRMのサポートに関する画面が表示されたら

3D対応モデル以外でDVD/CDドライブにディスクを入れた直後に次の画面が表示された場合は、CPRMコンテンツを再生するためのデバイス鍵をダウンロードしてください。

1 表示された画面で「OK」をクリックする

自動的にInternet Explorerが起動し、登録画面が表示されます。

Corelオンライン登録ページにユーザー登録をおこなった電子メールアドレスとパスワードを入力して「サインイン」をクリックします。

重要

- CPRMはDVDなどに採用されている著作権保護機能です。この機能を含んだデータが録画されたDVDを視聴するためには、デバイス鍵をダウンロードする必要があります。
- CPRM Packのダウンロードをするには、インターネットに接続する必要があります。
- 3D対応モデルに搭載されている「PowerDVD 3D」を使用してCPRMコンテンツを再生する際は、デバイス鍵をダウンロードする必要はありません。

参考

Corelオンライン登録ページにユーザー登録をおこなっていない場合は、「登録」をクリックし登録をおこなってください。

2 **「DownloadNow」をクリックして、CPRM Packをダウンロードする**

3 **ソフトを終了する**

4 **ダウンロードしたCPRM.exeを起動する**

インストールが開始されます。画面の指示にしたがい操作してください。

5 **「Pack is successfully installed」と表示されたら、「OK」をクリックする**

6 **「Corel WinDVD」、「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」を起動し、CPRMコンテンツを含むディスクをセットする**

7 **「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックする**

「Corel WinDVD」、「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」が再起動され、再生が始まります。

ディスクが取り出せなくなったときは

この方法でディスクを取り出す前に、『トラブルの予防と解決』第3章の「その他のトラブルがおきたとき」-「DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった」をご覧になり、ディスクが取り出せないか試してください。

パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、次の操作でディスクを取り出してください。

参考

パソコンの電源が入っていないと、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。

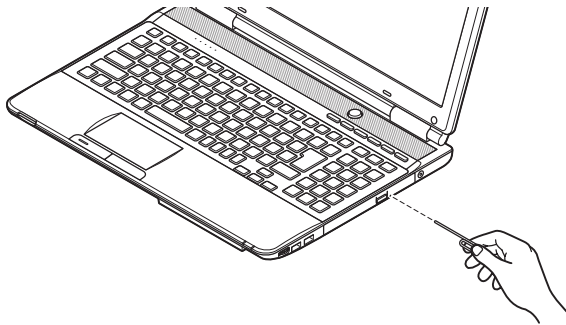
注意

ペーパークリップを使うときは、ペーパークリップのとがった部分で指を切ったりしないように、注意して作業してください。

1 パソコンの電源を切る

2 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意する

大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

3 非常時ディスク取り出し穴に、手順2で作った針金を差し込み、押し込む

ディスクトレイが少し飛び出します。

4 ディスクトレイを引き出し、ディスクを取り出す

電源の切り方について
▶第2章の「パソコンを終了する」(p.18)

穴の位置はモデルにより異なります。

リモコン

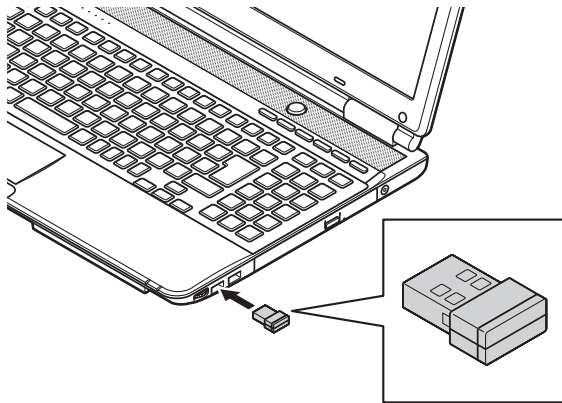
ここではワイヤレスTVデジタル添付モデルに添付されているリモコンの使い方について説明します。

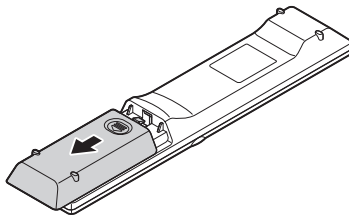
リモコン受信用ユニットを取り付ける

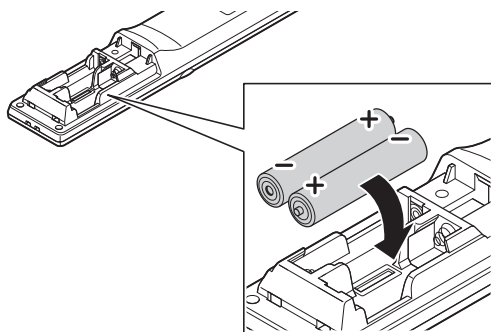
リモコンの信号を受信するためのユニットをUSBコネクタに取り付けます。

リモコン受信用ユニットを図のような向きでコネクタに差し込んでください。

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン背面の電池カバーをスライドして取り外す

重要

- リモコン受信用ユニットはUSB 3.0対応コネクタ(SS⇔または SS⇔)には差し込まないでください。リモコンを使ってスリープ状態からの復帰ができなくなる場合があります。
- はじめてリモコン受信用ユニットを差し込んだときは再起動が必要になります。メッセージが表示されたら「今すぐ再起動する」をクリックして、パソコンを再起動してください。

2 **添付の乾電池を入れる**

電池の向きに注意して入れてください。

3 **電池カバーをもとのように取り付ける**

リモコンの使用範囲について

リモコンを使うときは、リモコン受信用ユニットから約3mの範囲で操作してください。

リモコンが使えるソフトについて

リモコンは、次のソフトで使うことができます。これ以外のソフトでリモコンを使用した場合には、ボタンが正しく動作しない可能性があります。

- 「SmartVision」
- 「WinDVD」(3D対応モデル以外)※
- 「PowerDVD 3D」(3D対応モデルのみ)
- 「Windows Media Center」
- 「ぱっと観スライドショー」
- 「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」

※「Corel WinDVD」、「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」

参考

SmartVisionの操作について詳しくは『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

参照

リモコンのボタンと動作について
→「リモコン」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010130 で検索

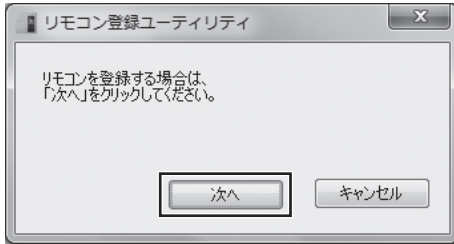
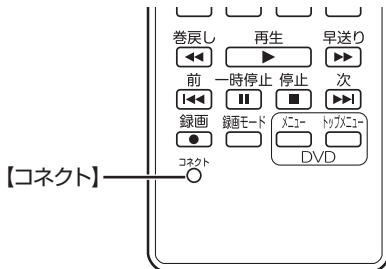
リモコンを登録しなおす

リモコンが正しく動作しないときは、何らかの原因でパソコン側の登録が解除されてしまったことが考えられます。
次の手順でリモコンを登録しなおしてください。

> **参考**
> パソコンを修理･交換した場合も、登録しなおす必要があります。

1 **リモコン受信用ユニットをパソコンのUSBコネクタに取り付る**

2 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「リモコン登録ユーティリティ」-「リモコン登録ユーティリティ」をクリックする**

3 **「次へ」をクリックする**

4 **つま楊枝の根元の部分など先端に丸みのあるもので、30秒以内にリモコンの【コネクト】を押す**

リモコンを操作して、正常に動作するかを確認してください。

> **参考**
> 登録できなかった場合は手順2からやりなおしてください。

バッテリ

バッテリ充電ランプ

バッテリの充電状態はバッテリ充電ランプでわかります。

●バッテリ充電ランプ( )とバッテリの充電状態

バッテリ充電ランプの状態	バッテリの充電状態
オレンジ色に点灯	バッテリ充電中
オレンジ色に点滅	バッテリのエラー※
消灯	ACアダプタが接続されていない、充電完了、またはバッテリの残容量がないとき

※バッテリ充電時のエラー、バッテリの寿命、または劣化時にエラーとなります。

バッテリパックを取り外す

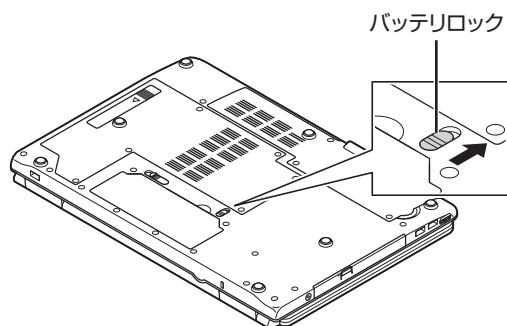
1 パソコンの電源を切る

第2章の「パソコンを終了する」(p.18)の手順で電源を切ってください。

2 電源コードのプラグをコンセントから抜いて、ACアダプタをパソコンから取り外す

3 液晶ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返す

4 バッテリロックを矢印の方向にスライドさせ、ロックを解除する

! 重要

バッテリをお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。

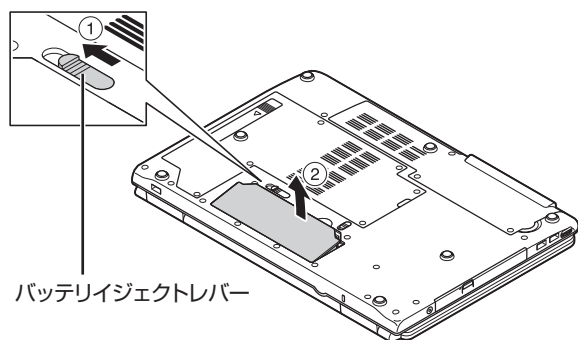
参照

バッテリを使うときの設定やリサイクルについて

→「バッテリ」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93150010 で検索

基本機能

5 バッテリパックを取り外す

バッテリパックの横にあるバッテリイジェクトレバー( )を矢印の方向にずらし(①)、バッテリパックを持ち上げて取り外します(②)。

バッテリパックを取り付ける

バッテリパックの取り付け方法について詳しくは第1章の「バッテリパックを取り付ける」(p.5)をご覧ください。

バッテリリフレッシュ

バッテリは、使い続けていくうちに、フル充電してもバッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリリフレッシュをおこなうことでバッテリの性能を回復できます。

バッテリリフレッシュをおこなうのは、次のようなときです。

・ バッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が、以前よりも短くなったとき
・ ご購入直後や長期間放置した後で、バッテリの性能が一時的に低下しているとき
・ バッテリの残量表示に誤差が生じているとき

参考

バッテリ診断の精度を高めるため、バッテリリフレッシュ中は消費電力の大きいソフトの使用は控えることをおすすめします。

参照

バッテリリフレッシュはBIOS(バイオス)セットアップユーティリティや「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」からおこなえます。

→「バッテリリフレッシュについて」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93150030で検索

基本編

第5章

パソコンに取り付ける

この章では、パソコンにいろいろな機器を取り付けるためのコネクタについてや、内部に新しい部品を取り付けたりする方法を説明します。
パソコン内部に部品を取り付けるときは、内部のほかの部品を傷つけたりしないよう、説明をよく読んでから作業してください。

周辺機器を取り付ける

ここではこのパソコンに取り付けられる周辺機器や取り付けるためのコネクタの位置などについて説明します。具体的な取り付けの手順や注意については、各周辺機器のマニュアルや「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧ください。

コネクタなどの位置について
▶「各部の名称」(p.ii、iii)

取り付ける周辺機器と使用するコネクタ

取り付ける機器	使用するコネクタ
プリンタ、イメージスキャナ、USBマウス、USBメモリーなど	USBコネクタ →「USBコネクタ」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015010 で検索
HDMI規格に対応したテレビや外部ディスプレイ	HDMIコネクタ →「HDMIコネクタ」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015250 で検索
アナログRGBコネクタが搭載されている外部ディスプレイ	外部ディスプレイ用コネクタ →「外部ディスプレイと連携させる」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93180070 で検索
SDメモリーカード、メモリースティックなど	デュアルメモリースロット →「デュアルメモリースロット」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015105 で検索
マイクロフォン	外部マイク入力端子 →「マイク入力端子」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015190 で検索
ヘッドフォン、オーディオ入力のあるAV機器	ヘッドフォン/オーディオ出力端子 →「ヘッドフォン/オーディオ出力端子」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015180 で検索

メモリ

より大きな容量のメモリをパソコンの内部に取り付けることで、ソフトを同時に起動したり、大きなデータを扱う際、より高速に処理することができるようになります。

メモリを増やす流れ

●増設の準備

▶メモリ容量を確認する(p.68)
▶メモリスロットを確認する(p.68)
▶このパソコンで使えるメモリ(p.69)

●増設メモリ(別売)を購入

●増設メモリの取り付け

▶メモリを取り扱うときのご注意(p.69)
▶メモリを取り外す(p.70)
▶メモリを取り付ける(p.71)

●メモリが増えているか確認

▶増やしたメモリ容量を確認する(p.72)

参考

このパソコンでは最大8Gバイトのメモリを搭載可能ですが、PCIデバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。また、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。

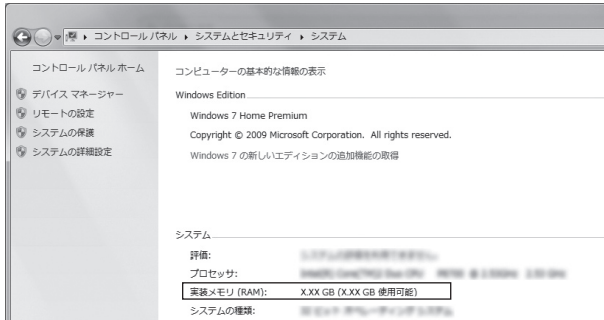
メモリ容量を確認する

次の手順でお使いのモデルのメモリ容量を確認できます。
メモリをどれぐらい増やせるかの参考にしてください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「システム」をクリックする

表示された画面の「実装メモリ(RAM)」を確認してください。

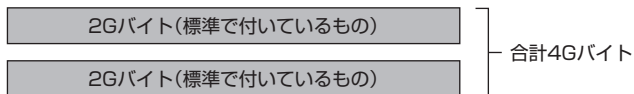
参考

メモリ容量は実際より少なく表示される場合がありますが、故障ではありません。

メモリスロットを確認する

●**このパソコンのメモリスロットについて**

このパソコンには、メモリを差し込むスロット(コネクタ)が、2つ用意されています。

●**メモリスロットへの取り付けについて**

ここでは、ご購入時に各スロットに2Gバイトのメモリが取り付けられている場合を例として、増設メモリをメモリスロットへ取り付ける手順を説明します。

この場合、すでにスロットにメモリが差し込まれている状態で、空いているスロットがありません。そのため、ご購入時に付いているメモリを取り外してスロットを空け、より大きな容量の増設メモリを取り付けなおすことで、メモリを増やします。

参考

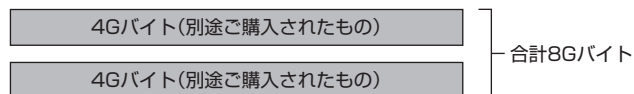
このパソコンはデュアルチャネルに対応しています。デュアルチャネルとは、同容量の2枚のメモリに同時にアクセスすることで、メモリのデータ転送性能を高速化する技術のことです。

重要

- **デュアルチャネルメモリの性能を最大限に引き出すために、2つのスロットに同容量のメモリを搭載しています。スロットごとに異なる容量のメモリを搭載しても動作しますが、一部のソフトでは十分な性能が出ない場合があるため、動作保証しておりません。増設時は、2つのスロットが同容量になるように増設することをおすすめします。**
- **このパソコンでは最大8Gバイトの容量までメモリを搭載できます。その場合、4Gバイトずつのデュアルチャネルで動作します。**

例：メモリを8Gバイト（最大）に増やす場合

まず、ご購入時に各スロットに取り付けられている2Gバイトのメモリ2枚を取り外して、いったんスロットを空にします。次に空になった各スロットに4Gバイトの増設メモリを取り付けます。

4Gバイト（別途ご購入されたもの）
4Gバイト（別途ご購入されたもの）
合計8Gバイト

このパソコンで使えるメモリ

次のタイプの増設メモリ（別売）をおすすめします。

型　名	メモリ容量
PC-AC-ME052C	4Gバイト

（DDR3 SDRAM/SO-DIMM、PC3-10600タイプ）

重要

- 左のタイプ以外の増設メモリには、このパソコンで使えないものがあります。ご購入前に確認してください。
- NECでは市販の増設メモリに関する動作保証やサポートはおこなっていません。販売元にお問い合わせください。

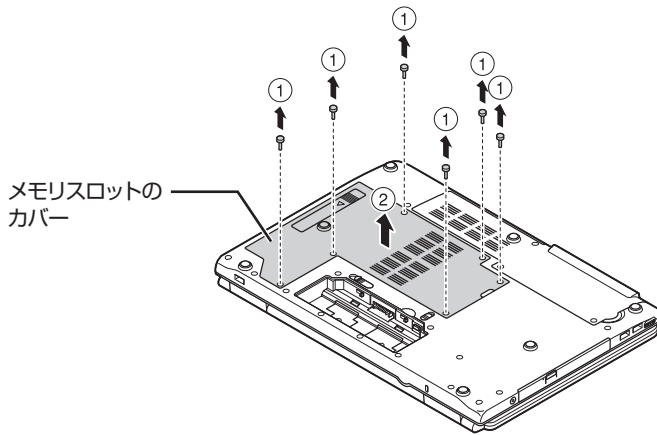
メモリを取り扱うときのご注意

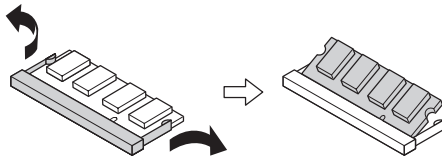
- メモリは静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で扱うと破損する原因になりますので、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に触れて静電気を取り除いてください。
- パソコンの電源を切った後30分以上経ってから、必ずACアダプタおよびバッテリパックをパソコンから取り外した後で、メモリスロットのカバーを取り外してください。
- メモリスロットのカバーを取り外すと、ボード上の部品やハンダ付け面などがありますが、手を触れないよう注意してください。
- メモリは、大変壊れやすい部品です。メモリを取り外した際は、大切に保管してください。再セットアップをおこなうときに必要となる場合があります。

メモリを取り外す

1 ACアダプタとバッテリパックを取り外す

2 メモリスロットのカバーを取り外す

図のネジをプラスドライバーでゆるめて、メモリスロットのカバーを外します。

3 メモリスロットの両端を左右に押し広げる

メモリが起き上がります。

4 起き上がったメモリをそのまま斜めに引き抜く

5 メモリスロットのカバーをもとに戻し、外したネジでカバーを取り付ける

6 バッテリパックとACアダプタを取り付ける

参照

バッテリパックの取り外し方について

▶第4章の「バッテリ」(p.63)

重要

メモリスロットのカバーを取り外すと、ボード上の部品やハンダ付け面などがありますが、手を触れないよう注意してください。

参考

イラストは実際の製品と異なることがあります。

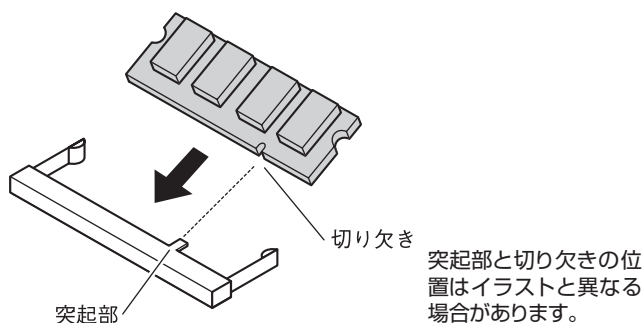
重要

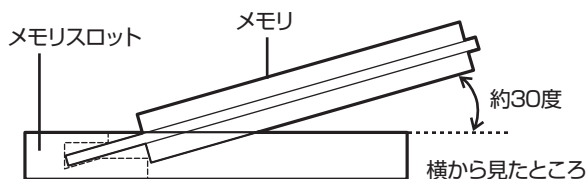
- **メモリスロットの両端を開きすぎて破損してしまわないように気を付けてください。**
- **メモリスロットの周りの部品を傷つけないよう気を付けてください。**

メモリを取り付ける

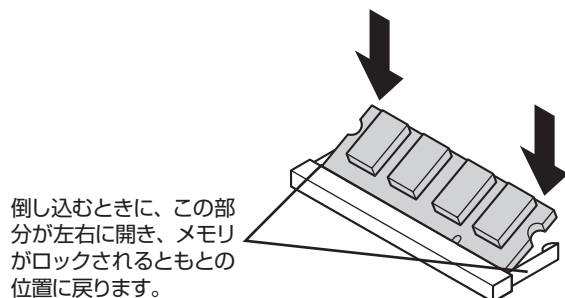
1 「メモリを取り外す」の手順1〜2をおこない、メモリスロットのカバーを取り外す

2 メモリの切り欠き部分と、メモリスロットにある突起部を合わせる

突起部と切り欠きの位置はイラストと異なる場合があります。

3 メモリをメモリスロットに奥まで差し込む

メモリの端子部分(金色)がメモリスロットの奥に当たるまで差し込みます。

端子部分のほとんどが、メモリスロットに差し込まれた状態になります。

4 メモリを強く倒し込む

カチッと音がする位置まで強く倒し込みます。

重要

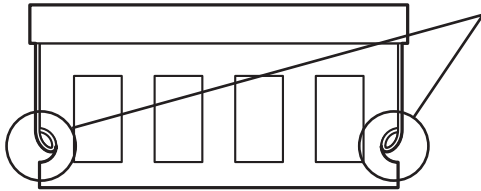
- メモリの金属端子部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因になります。
- メモリの表と裏が間違っている場合、差し込むことができません。間違った向きのままで無理に取り付けようとすると、メモリスロットやメモリが破損する原因になりますので注意してください。

参考

イラストは実際の製品と異なることがあります。

重要

差し込むときに、メモリスロットが固いことがありますが、奥までしっかり押し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順をおこなうと、メモリスロットやメモリを破損するおそれがあります。

5 **メモリがメモリスロットにロックされたことを確認する**

正しくロックされている場合は、メモリが水平で、端子の金色の部分が少し(1mm程度)見える状態です。

重要

確実にロックされていないと、メモリスロットやメモリの故障の原因になります。また、パソコンが正しくメモリを認識できません。

6 **メモリスロットのカバーをもとに戻し、外したネジでカバーを取り付ける**

7 **バッテリパックとACアダプタを取り付ける**

増やしたメモリ容量を確認する

パソコンの電源を入れ、メモリを増やす前に確認したときと同様の手順で、メモリ容量が増えているか確認できます。

●**表示されたメモリ容量が増えていなかった場合**
次のことを確認してください。
・正しく取り付けられているか？
・このパソコンで使えるメモリを取り付けているか？

参照

メモリ容量を確認する
▶「メモリ容量を確認する」(p.68)

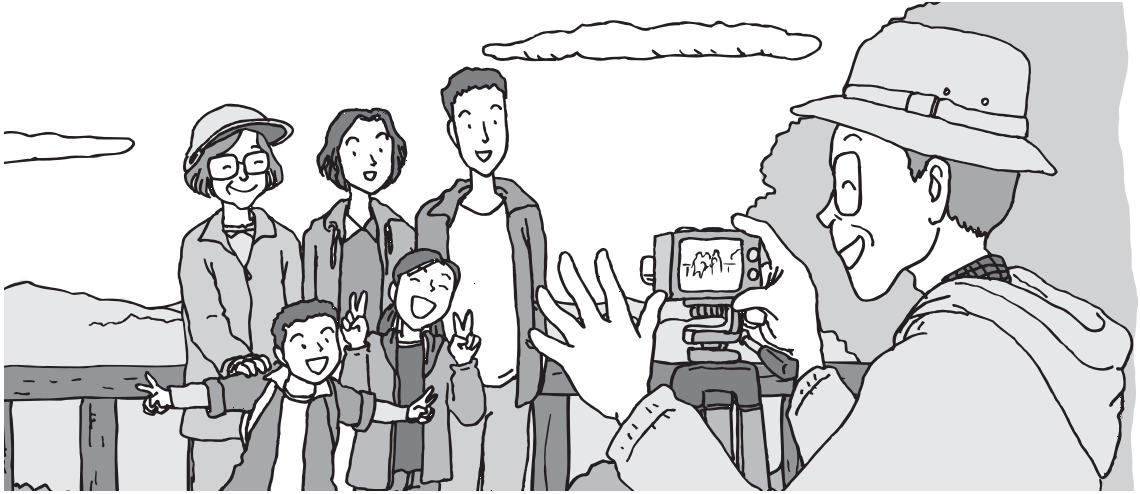
重要

メモリを増設した場合、初期化のため、電源を入れてからディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

参考

実際に利用できるメモリ容量は、取り付けたメモリの総容量より少ない値になります。

基本編

第 6 章

おすすめ機能

この章では、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、説明を読んでパソコンをさらに使いこなしてみましょう。

複数のパソコンを使う

このパソコンには、複数のパソコンでデータを共有する機能や、ネットワークを作りほかのパソコンと連携させて活用するための便利な機能が用意されています。

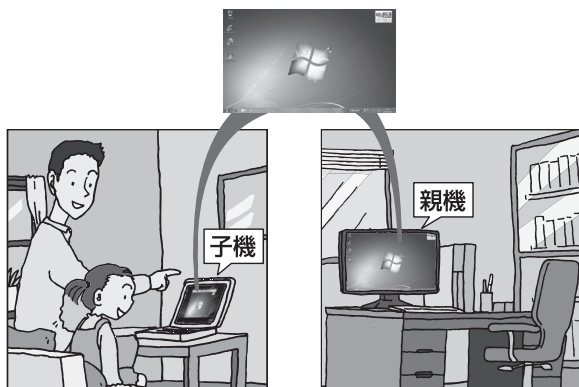
ここでは、複数のパソコンを使う際に用意されている機能について紹介します。詳しい内容については、「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

→「複数台利用でできること」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91090010で検索

機能	使用するソフト	機能の説明
パソコンを遠隔操作する(次ページ)	「Luiリモートスクリーン(親機版)」 「Luiリモートスクリーン(子機版)」	自宅のパソコンを、別の部屋にあるパソコンから遠隔操作したり、外出先からインターネット経由で利用したりできます。
データや設定を移行する	「ファイナルパソコンデータ引越し」	パソコンのデータや設定などをまとめて一度に、このパソコンへ移行します。
データを同期・共有する	「FlyFolder」	複数のパソコンで、特定のフォルダを常に同期をとるように設定すると、最新のデータを共有できます。
写真、映像、音楽コンテンツをやりとりする	「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」 「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」	DLNAに対応したほかのパソコンとの間で写真、映像、音楽コンテンツなどを相互に視聴することができます。
テレビ番組をやりとりする	「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」 「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」	ほかのパソコンやハードディスクレコーダー※1で録画したデジタル放送の番組を視聴することができます※2。 ワイヤレスTVデジタル添付モデルでは、SmartVisionで録画したデジタル放送の番組を配信することができます。

※1：配信機能があるDTCP-IP対応機器。
※2：「Windows Media Center」のメニューの「ホームネットワーク」に「デジタル録画番組」という項目が表示される機種のみ。

パソコンを遠隔操作する（Luiリモートスクリーン）

Luiリモートスクリーンを使うと、家庭内のネットワークやインターネットに接続した2台のパソコンで、自宅内はもちろん、自宅外からも、一方のパソコンから他方のパソコンを操作できるようになります。

※親機の画面が子機に表示され、子機側で親機の画面を操作できます。

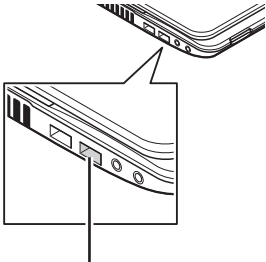
利用するためには、ソフトのインストールや接続の設定が必要になります。機能の説明について詳しくは、デスクトップにある（「Luiリモートスクリーンのご紹介」アイコン）をダブルクリックして、表示される説明をご覧ください。
デスクトップにアイコンがない場合には、「ソフト＆サポートナビゲーター」からもご覧いただけます。「ほかのパソコンを遠隔操作する（Luiリモートスクリーン）」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91090020で検索）をご覧ください。

また使い方については、次のマニュアルも参照してください。

● **家の中だけで使いたいときの設定方法**
　→「Luiかんたんスタートマニュアル」

● **モバイル通信などを利用して、家の外からも接続するときの設定方法**
　→「Luiリモートスクリーンマニュアル」

参考

- 1台の親機へ同時に2台以上の子機を接続できません。
- 子機で親機に接続しているときは、子機からのみ親機の操作ができます。親機に接続されているマウスやキーボードでは操作できません。

参照

→「Luiかんたんスタートマニュアル」
▶「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiかんたんスタートマニュアル」
→「Luiリモートスクリーンマニュアル」
▶「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiリモートスクリーンマニュアル」

おすすめ機能について知る

ここでは、このパソコンを使いこなすためのさまざまな機能について紹介します。詳しい使い方については、「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧ください。

機能	説明	検索番号
ワンタッチ スタートボタン	【マイ チョイス】や【ソフト】を押すだけで、自分で登録したソフトを起動することができます。1つのボタンで、最大5つのソフトを同時に起動することができます。	→「キーボード上部のボタンなど」 ▶ 93040040
ECOボタン	押すだけで、パソコンの消費電力を節約するための電源プランに切り換えることができます。	→「キーボード上部のボタンなど」 ▶ 93040040
HDMIコネクタ (外部出力)	このパソコンのHDMIコネクタには、HDMI規格に準拠した外部ディスプレイや液晶テレビなどを接続できます。	→「HDMIコネクタ」 ▶ 93015250 →「画面を表示するディスプレイを切り換える」 ▶ 93180110
インテル® ワイヤレス・ ディスプレイ	インテル ワイヤレス・ディスプレイ用アダプターを接続したテレビや外部ディスプレイと接続できます。	→「外部ディスプレイと連携させる」-「インテル® ワイヤレス・ディスプレイで接続する」 ▶ 93180070▶「インテル® ワイヤレス・ディスプレイで接続する」
彩りの設定	映像視聴ソフトの画質を変えることができます。	→「彩りの設定」 ▶ 94071920 →「画質補正機能」 ▶ 93180135
手書きでお助け パッド	NXパッド上に書いた文字を、「メモ帳」などのテキスト編集ソフトに入力できます。難しい漢字や読み方がわからない漢字を表示したいときに便利です。	→「NXパッドの設定を変更する」-「NXパッドで文字を手書き入力する」 ▶ 93030090▶「NXパッドで文字を手書き入力する」

機能	説明	検索番号
ジェスチャー(NXパッドの補助機能)	ジェスチャー機能を使うと、NXパッドの左右のコーナーなどに動作を割り当てることができます。	→「NXパッドの設定を変更する」-「便利な補助機能「ジェスチャー」の設定」 ▶93030090▶「便利な補助機能「ジェスチャー」の設定」
パワーオフUSB充電機能	下図で示した左側面のUSBコネクタ( )は、パワーオフUSB充電機能に対応しています。この機能はUSBケーブルを使って充電できる機器を、パソコンの電源が切れた状態でも充電できます。 USBコネクタ (パワーオフUSB充電機能対応)	→「USBコネクタ」-「パワーオフUSB充電機能について」 ▶93015010▶「パワーオフUSB充電機能について」
FeliCa(フェリカ)	FeliCa対応モデルでは、FeliCa対応カードやFeliCa対応携帯電話を、このパソコンを使う際のパスワード認証の代わりや、インターネットショッピングでの電子マネーに利用できます。残額や利用履歴の確認もおこなえます。	→「FeliCaとは」 ▶93200010

付　録

お手入れについて

準備するもの

乾いたきれいな布

水かぬるま湯を含ませて、
よくしぼった布

お手入れをするときのご注意

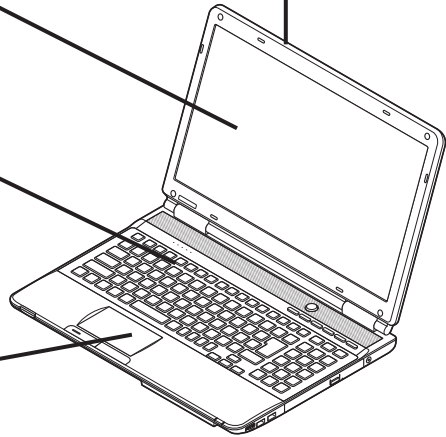
- シンナーやベンジンなど、揮発性の有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。
- 水やぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でパソコン本体、キーボード、マウス(添付モデルのみ)、リモコン(リモコン添付モデルのみ)の汚れをふき取る際、水が入らないよう十分注意してください。
- 水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
- お手入れの前に第2章の「パソコンを終了する」(p.18)の手順で電源を切ってください。電源コードのプラグはコンセントから抜いてください。また、バッテリパックも取り外してください。電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。
- キーボードの清掃には、掃除機を使用しないでください。キートップが外れるおそれがあります。キーのすきまにゴミなどが入ったときは、精密機器専用のエアダスターなどで取り除いてください。
- キートップを故意に取り外すこともやめてください。キートップをもとに戻せなくなったり、キートップやキーボードが破損し、本装置の故障や機能低下の原因となることがあります。

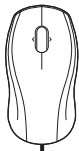
パソコン各部の清掃のしかた

液晶ディスプレイ
やわらかい素材の乾いた布でふいてください。
化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。
ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。

パソコン本体
やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

キーボード
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

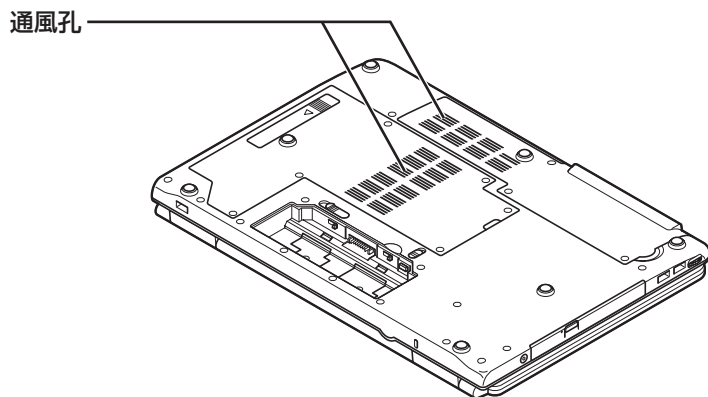
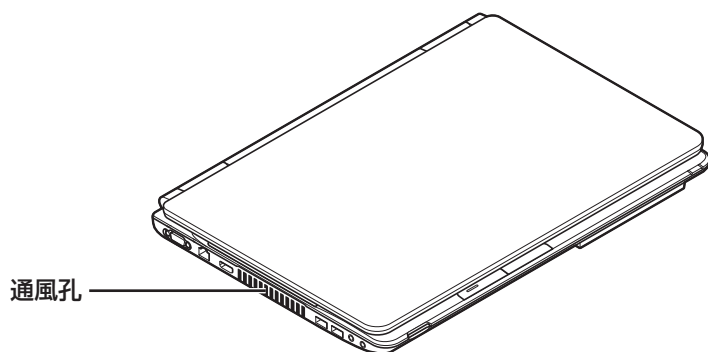
NXパッド
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

通風孔
通風孔のほこりなどを定期的に取り除いてください。詳しくは、「通風孔のお手入れについて」(次ページ)をご覧ください。

電源コード／ACアダプタ
電源コードのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。
定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

マウス(添付モデルのみ)
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

リモコン(リモコン添付モデルのみ)
やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

通風孔のお手入れについて

通風孔とは、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと通風孔の機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。

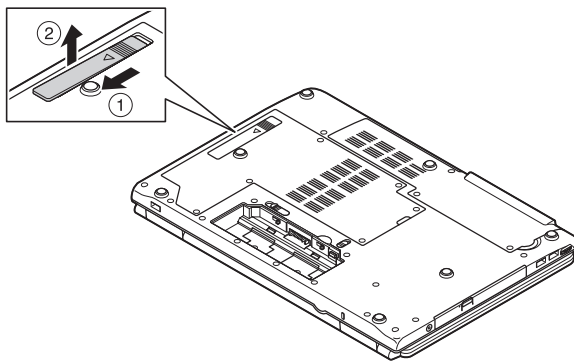
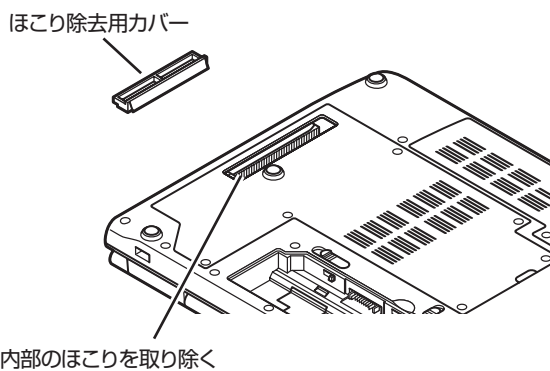
本体底面

本体左側面

通風孔のお手入れの際は、パソコンのふたを閉じた状態で掃除機などを使って本体の外側からほこりを取り除いてください。ほこりの付着がひどい場合には、ハケや綿棒、使用済み歯ブラシなどを使って、ほこりをかき出しながら掃除機で吸引するときれいに掃除することができます。

また、このパソコンでは、冷却ファン清掃用のフタを取り外して内部にたまったほこりをとることができます。お手入れの際は次の手順で清掃をしてください。

1 パソコンの電源を切る

2 ディスプレイを閉じて、パソコン本体を裏返す

3 ACアダプタとバッテリを取り外す

4 冷却ファン清掃用のフタを取り外す

5 ほこり除去用カバーをゆっくり垂直に引き上げ、パソコン内部に付着したほこりを綿棒などで取り除く

6 手順5で取り出したほこり除去用カバーと冷却ファン清掃用のフタをもとどおりに取り付ける

バッテリの取り外し方
▶第4章の「バッテリ」(p.63)

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)について

▶『トラブルの予防と解決』第5章の「NECのサポート窓口に電話する」

保守サービスに依頼するときのご注意

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)などにこのパソコンの修理を依頼する場合は、設定したパスワードを解除しておいてください。

消耗品と有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

種類	内容説明	該当品または部品(代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。本体の保証期間内であっても有償になります。	フロッピーディスク、CD-ROMディスク、DVD-ROMディスク、SDメモリーカード、メモリースティック、バッテリ、乾電池など
有寿命部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。本体の保証期間内であっても部品代は有償になる場合があります。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の修理受付窓口にご相談ください。	液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ、SSD、DVD/CDドライブ、キーボード、マウス、ファン、NXパッド

※ 記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは、「仕様一覧」または『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』の「仕様一覧」をご覧ください。

消耗品や有寿命部品に関するご注意

・ 有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
  また、長時間連続使用などのご使用状態や、温湿度条件などのご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。
・ 本製品の補修用性能部品の保有期間は、パソコン本体、オプション製品については製造打切後6年です。

24時間以上の連続使用について

・ 本製品は、24時間連続使用を前提とした設計になっておりません。
  24時間連続稼働した場合、標準保証の対象外となり、製品保証期間内であっても有償修理となります。

液晶ディスプレイのドット抜けについて

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインにしたがい、ドット抜けの割合を「仕様一覧」または『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』の「仕様一覧」に記載しています。
  ガイドラインの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  ・「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
  (http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html)

付録

パソコンの売却、処分、改造について

パソコンを他人に売却、処分するときの注意事項を説明します。また、パソコンの改造はおこなわないでください。

このパソコンを売却するには

ご使用済みパソコンの買い取りサービスをおこなっております。
買い取り対象機種や上限価格は、随時変更されます。サービス内容の詳細や最新情報については、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/support/recyclesel/

パソコンを譲渡する際のご注意

パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。

参照

このパソコンのハードディスクのデータを消去する方法について
▶『トラブルの予防と解決』第4章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

このパソコンを譲渡するには

重要

第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイページ(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除してください。

譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(http://121ware.com/my/)にアクセスし、登録をお願いします。

お客様登録の方法について
▶『トラブルの予防と解決』第5章の「お客様登録のお願い」

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。PCリサイクルマークが銘板(パソコン本体の底面にある型番、製造番号が記載されたラベル)に表示されている、またはPCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は、弊社が責任を持って回収、再資源化いたします。希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください。

当該製品をご家庭から排出する場合

弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力いただける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。詳細については次のサイトや窓口を確認してください。

廃棄時の詳細について
NECパーソナル商品総合情報サイト
「121ware.com」
(http://121ware.com/support/recyclesel/)

廃棄についてのお問い合わせ
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)
フリーコール 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
03-6670-6000(東京)(通話料金はお客様負担になります)
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は添付の『トラブルの予防と解決』をご覧ください。
また、最新の情報については、(http://121ware.com/121cc/)をご覧ください。

当該製品が事業者から排出される場合(産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。
http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/

※ 本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

付録

ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において消去することが重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスクやメモリーカードを物理的に破壊して、読めないようにします。
なお、物理的に破壊する場合、専門技術が必要になります。また、お客様のけが防止のため、専門業者へ依頼することを推奨します。

このパソコンでは、再セットアップディスクを作成して、ハードディスクのデータ消去ができます。
「データやファイルの消去」、「ハードディスクの初期化(フォーマット)」、「メモリーカードの初期化(フォーマット)」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。
このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

重要
本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のJEITA(社団法人電子情報技術産業協会)の文書をご参照ください。
(http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/JEITA_HDDdata100219F.pdf)

参照
再セットアップディスクによるハードディスクのデータの消去について
▶『トラブルの予防と解決』第4章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

重要
ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

地上デジタル放送で使用する個人情報の消去に関するご注意

ワイヤレスTVデジタル添付モデルでは、お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、地上デジタル放送のデータ放送で使用した個人情報を消去することが必要になります。個人情報の消去にはSmartVisionを使用します。

参照
SmartVisionで個人情報を消去する方法について
▶『テレビを楽しむ本』付録の「個人情報を消去する」

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外になることがあります。

仕様一覧

本体仕様一覧

LaVie Gシリーズの本体仕様一覧については、添付の『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』の「仕様一覧」をご覧ください。

●LL970/DS、LL850/DS6W、LL850/DS6B、LL850/DS6R、LL850/DS6C LL770/DS、LL750/DS6W、LL750/DS6B、LL750/DS6R、LL750/DS6C

型名			LL970/DS	LL850/DS6W LL850/DS6B LL850/DS6R LL850/DS6C	LL770/DS	LL750/DS6W LL750/DS6B LL750/DS6R LL750/DS6C
型番			PC-LL970DS	PC-LL850DS6W PC-LL850DS6B PC-LL850DS6R PC-LL850DS6C	PC-LL770DS	PC-LL750DS6W PC-LL750DS6B PC-LL750DS6R PC-LL750DS6C
インストールOS・サポートOS			Windows® 7 Home Premium 64ビット 正規版※1※2			
CPU			第2世代 インテル® Core™ i7-2620M プロセッサー		第2世代 インテル® Core™ i5-2410M プロセッサー	
	動作周波数		2.70GHz(インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー2.0に対応:最大3.40GHz)		2.30GHz(インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー2.0に対応:最大2.90GHz)	
	コア数/ウェイ数		2コア/4ウェイ(インテル® ハイパースレッディング・テクノロジーに対応)			
	キャッシュメモリ		4MB(3次キャッシュ)		3MB(3次キャッシュ)	
バスクロック	システムバス		2.5GT/s DMI※3			
	メモリバス		1333MHz			
チップセット			モバイル インテル® HM65 Express チップセット			
メインメモリ※4※5※6※7	標準容量/最大容量		8GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 4GB×2、PC3-10600対応、デュアルチャネル対応)/8GB		4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-10600対応、デュアルチャネル対応)/8GB※8※9	
	スロット数		2スロット[空き:0]			
表示機能	内蔵ディスプレイ		15.6型ワイド(偏光板方式3D) 高輝度・高色純度・低反射TFTカラー液晶 (スーパーシャインビューLED液晶) [Full HD(最大1920×1080ドット表示)]	15.6型ワイド 高輝度・高色純度・低反射TFTカラー液晶 (スーパーシャインビューLED-EX2液晶) [WXGA(最大1366×768ドット表示)]	15.6型ワイド(偏光板方式3D) 高輝度・高色純度・低反射TFTカラー液晶 (スーパーシャインビューLED液晶) [Full HD(最大1920×1080ドット表示)]	15.6型ワイド 高輝度・高色純度・低反射TFTカラー液晶 (スーパーシャインビューLED-EX2液晶) [WXGA(最大1366×768ドット表示)]
		LCDドット抜けの割合※10	0.00013%以下	0.00023%以下	0.00013%以下	0.00023%以下
	表示色(解像度)※11	内蔵ディスプレイ※12	最大1677万色※13 (1920×1080ドット、1680×1050ドット、1440×900ドット、1280×1024ドット、1280×800ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)	最大1677万色※13 (1366×768ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)	最大1677万色※13 (1920×1080ドット、1680×1050ドット、1440×900ドット、1280×1024ドット、1280×800ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)	最大1677万色※13 (1366×768ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)
		別売の外付けディスプレイ接続時(HDMI接続時)※14	最大1677万色 (1920×1080ドット、1280×1024ドット、1280×720ドット、1024×768ドット、800×600ドット、720×480ドット)※54 対応映像方式:1080p/1080i/720p/480p	最大1677万色 (1920×1080ドット、1280×1024ドット、1280×720ドット、1024×768ドット、800×600ドット、720×480ドット) 対応映像方式:1080p/1080i/720p/480p	最大1677万色 (1920×1080ドット、1280×1024ドット、1280×720ドット、1024×768ドット、800×600ドット、720×480ドット)※54 対応映像方式:1080p/1080i/720p/480p	最大1677万色 (1920×1080ドット、1280×1024ドット、1280×720ドット、1024×768ドット、800×600ドット、720×480ドット) 対応映像方式:1080p/1080i/720p/480p
		別売の外付けディスプレイ接続時(アナログRGB接続時)※15	最大1677万色(1680×1050ドット、1600×1200ドット、1440×900ドット、1280×1024ドット、1280×800ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)			
	グラフィックアクセラレータ		インテル® HD グラフィックス 3000(CPUに内蔵)			
	グラフィックスメモリ※6※16		最大1696MB			
ドライブ	ハードディスクドライブ※17		約750GB(Serial ATA、5400回転/分)			
	BD/DVD/CDドライブ(詳細は別表(p.93)をご覧ください)		ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)※18※19※55			

型名			LL970/DS	LL850/DS6W LL850/DS6B LL850/DS6R LL850/DS6C	LL770/DS	LL750/DS6W LL750/DS6B LL750/DS6R LL750/DS6C
サウンド機能	スピーカ		YAMAHA製ステレオスピーカ内蔵[2W+2W(FR-Port方式搭載※22)]			
	音源/サラウンド機能		インテル® High Definition Audio準拠(最大192kHz/24ビット※21)、MaxxAudio®機能※20、マイク機能(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル、ビームフォーミング)			
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC275搭載			
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応			
	ワイヤレスLAN		高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵※24※26※27※28(IEEE802.11a/b/g/n準拠)、インテル® My WiFiテクノロジー対応※56※57、インテル®ワイヤレス・ディスプレイ対応※59	高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵※23※25※28(IEEE802.11b/g/n準拠)、インテル® My WiFiテクノロジー対応※56※58、インテル®ワイヤレス・ディスプレイ対応※59	高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵※24※26※27※28(IEEE802.11a/b/g/n準拠)、インテル® My WiFiテクノロジー対応※56※57、インテル®ワイヤレス・ディスプレイ対応※59	高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵※23※25※28(IEEE802.11b/g/n準拠)、インテル® My WiFiテクノロジー対応※56※58、インテル®ワイヤレス・ディスプレイ対応※59
TV機能(詳細は別表(p.94)をご覧ください)			地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送対応(ワイヤレスTVデジタル)※29※30	ー	地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送対応(ワイヤレスTVデジタル)※29※30	ー
入力装置	キーボード		本体一体型(キーピッチ19mm※31、キーストローク2.4mm)、JIS標準配列(105キー、テンキー付き)			
	マウス		USBレーザーミニマウス(横スクロール機能付き※33)			
	リモコン		無線リモコン※32	ー	無線リモコン※32	ー
	ポインティングデバイス		手書き入力※34/ジェスチャー機能付きNXパッド標準装備※33			
	ボタン		ワンタッチスタートボタン(マイ チョイス、インターネット、ソフト)、ECOボタン、ズームボタン搭載			
外部インターフェイス	USB		USB 3.0×2※35(パソコン本体左側面の端子にパワーオフUSB充電機能付き※36※37)、USB 2.0×3			
	ディスプレイ		ミニD-sub15ピン×1、HDMI出力端子×1※14※54	ミニD-sub15ピン×1、HDMI出力端子×1※14	ミニD-sub15ピン×1、HDMI出力端子×1※14※54	ミニD-sub15ピン×1、HDMI出力端子×1※14
	LAN		RJ45×1			
	サウンド関連	マイク入力※38	ステレオミニジャック×1[マイク入力インピーダンス 32kΩ、入力レベル 100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧 2.5V]			
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1[ヘッドフォン出力インピーダンス 16～100Ω(推奨32Ω)、出力電力 5mW/32Ω]			
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル 1Vrms)			
	カードスロット	メモリーカード	デュアルメモリースロット×1※39[SDメモリーカード(SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード)※40※41、メモリースティック デュオ(メモリースティック PRO-HG デュオ)※42]			
	TV		ー【ワイヤレスTVデジタルに「BS・110度CSデジタル放送アンテナ入力端子×1、地上デジタル放送アンテナ入力端子×1、B-CASカードスロット×1」搭載】	ー	ー【ワイヤレスTVデジタルに「BS・110度CSデジタル放送アンテナ入力端子×1、地上デジタル放送アンテナ入力端子×1、B-CASカードスロット×1」搭載】	ー
FeliCaポート			搭載(Version 2.0)			ー
外形寸法	本体(突起部除く)		377.4(W)×265(D)×36.2(H)mm			
	バッテリ(突起部除く)		約141.9(W)×56.0(D)×20.2(H)mm			
	ACアダプタ		約133.5(W)×59.5(D)×31.6(H)mm			
	リモコン		50(W)×258(D)×27.5(H)mm	ー	50(W)×258(D)×27.5(H)mm	ー
質量	本体(標準バッテリパック含む)※52/マウス/リモコン/3Dメガネ		約2.9kg/約80g/約140g※43/約27g	約2.9kg/約80g/ー/ー	約2.9kg/約80g/約140g※43/約27g	約2.9kg/約80g/ー/ー
	バッテリ		約215g			
	ACアダプタ※44		約400g			
バッテリ駆動時間※45※46	標準バッテリパック装着時		約1.9時間(リチウム)	約2.0時間(リチウム)	約1.9時間(リチウム)	約2.1時間(リチウム)
バッテリ充電時間(電源ON時/OFF時)※45	標準バッテリパック装着時		約2.3時間/約2.3時間(リチウム)			
電源※47※48			リチウムイオンバッテリ(DC14.4V、Typ.2250mAh※49)またはACアダプタ(AC100～240V±10%、50/60Hz)			
消費電力	標準※53/最大		約19W/約90W	約17W/約90W	約19W/約90W	約17W/約90W
電波障害対策			VCCI ClassB			
温湿度条件			5～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)			

型名	LL970/DS	LL850/DS6W LL850/DS6B LL850/DS6R LL850/DS6C	LL770/DS	LL750/DS6W LL750/DS6B LL750/DS6R LL750/DS6C
本体色／マウス色	クリスタルブラック(スクラッチリペアあり)※51／ブラック	・LL850/DS6Wの場合 クリスタルホワイト(スクラッチリペアあり)※51 ／ホワイト ・LL850/DS6Bの場合 クリスタルブラック(スクラッチリペアあり)※51 ／ブラック ・LL850/DS6Rの場合 クリスタルレッド(スクラッチリペアあり)※51／レッド ・LL850/DS6Cの場合 クリスタルブラウン(スクラッチリペアあり)※51 ／ブラック	クリスタルブラック(スクラッチリペアあり)※51／ブラック	・LL750/DS6Wの場合 クリスタルホワイト(スクラッチリペアあり)※51 ／ホワイト ・LL750/DS6Bの場合 クリスタルブラック(スクラッチリペアあり)※51 ／ブラック ・LL750/DS6Rの場合 クリスタルレッド(スクラッチリペアあり)※51／レッド ・LL750/DS6Cの場合 クリスタルブラウン(スクラッチリペアあり)※51 ／ブラック
主なソフトウェア	Microsoft® Office Home and Business 2010※50			
主な添付品	ACアダプタ、マニュアル、USBレーザーミニマウス、ワイヤレスTVデジタル、B-CASカード、無線リモコン、乾電池(単三アルカリ:2本 リモコン用)、リモコン受信用小型ユニット(USB接続)、3Dメガネ(偏光板方式)※30	ACアダプタ、マニュアル、USBレーザーミニマウス	ACアダプタ、マニュアル、USBレーザーミニマウス、ワイヤレスTVデジタル、B-CASカード、無線リモコン、乾電池(単三アルカリ:2本 リモコン用)、リモコン受信用小型ユニット(USB接続)、3Dメガネ(偏光板方式)※30	ACアダプタ、マニュアル、USBレーザーミニマウス

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※ 1： 日本語版です。添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用になれます。別売のOSをインストールおよびご利用になることはできません。

※ 2： ネットワークでドメインに参加する機能はありません。

※ 3： DMIはDirect Media Interfaceの略です。

※ 4： 増設メモリは、PC-AC-ME052C(4GB、PC3-10600)を推奨します。

※ 5： 他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。

※ 6： グラフィックスメモリは、メインメモリを使用します。

※ 7： 実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。

※ 8： 最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ(4GB)を2枚実装する必要があります。

※ 9： 2つのメモリスロットに異なる容量のメモリを搭載するメモリ構成はサポートしておりません。

※ 10： ISO13406-2の基準にしたがって、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。

※ 11： 本体液晶ディスプレイの最大解像度より小さい解像度を選択した場合、拡大表示機能によって画面全体に表示します。ただし、拡大表示によって文字や線などの太さが不均一になることがあります。

※ 12： 液晶ディスプレイの最大解像度より大きい解像度を、液晶ディスプレイに表示することはできません。

※ 13： 1677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現します。

※ 14： 本機で著作権保護されたコンテンツを再生し、HDMI出力端子に接続した機器に表示する場合、接続する機器はHDCP規格に対応している必要があります。HDCP規格に非対応の機器を接続した場合は、コンテンツの再生または表示ができません。HDMIのCEC(Consumer Electronics Control)には対応しておりません。HDMIケーブルは長さ1.5m以下を推奨します。ご使用の環境によっては、リフレッシュレートを60Hz(プログレッシブ)に変更するか、解像度を低くしないと、描画性能が上がらない場合があります。すべてのHDMI規格に対応した外部ディスプレイやTVでの動作確認はしておりません。HDMI規格に対応した外部ディスプレイやTVによっては正しく表示されない場合があります。

※ 15： 本機のもつ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同時表示可能です。ただし拡大表示機能を使用しない状態では、本体液晶ディスプレイ全体には表示されない場合があります。また解像度によっては、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。

※ 16： パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。

※ 17： 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。

※ 18： ブルーレイディスクの再生はソフトウェアを用いているため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU負荷などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり映像がコマ落ちする場合があります。

※ 19： ブルーレイディスクの再生時は、必ずACアダプタをご使用ください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。

※ 20： MaxxAudio®は内蔵スピーカ専用の機能です。ヘッドフォン／オーディオ出力端子、HDMI出力、USBオーディオなどを使用した外部機器では動作しません。

※ 21： 量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。

※ 22： FR-PortはYAMAHA特許出願中の新低音再生技術です。

※ 23： IEEE802.11nはWPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)対応、IEEE802.11b/gはWEP(64/128bit)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES)対応です。

※ 24： IEEE802.11nはWPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)対応、IEEE802.11a/b/gはWEP(64/128bit)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES)対応です。
5GHz帯ワイヤレスLANは、IEEE802.11a/n(W52/W53/W56)準拠です。

※ 25： 理論上の最大通信速度は、送信が150Mbps、受信が300Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。接続先の11nワイヤレスLAN機器の仕様により、接続時の速度が異なります。
※ 26： 理論上の最大通信速度は送受信ともに300Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。接続先の11nワイヤレスLAN機器の仕様により、接続時の速度が異なります。
※ 27： IEEE802.11a/n(W52/W53)ワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
W52/W53/W56は社団法人 電子情報技術産業協会による表記です。詳細はホームページ（http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/JEITA_5GHzwirelessLANguideline3_100331.pdf）をご覧ください。
※ 28： IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※ 29： 出荷時の解像度／色数以外ではTV機能を利用できません。
※ 30： 購入本体のみで、ご利用できます。
※ 31： キーボードのキーの横方向の間隔。キーの中心から隣のキーの中心までの長さ(一部キーピッチが短くなっている部分があります)。
※ 32： 使用可能な距離は約3mです(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。
※ 33： 使用するソフトウェアによって動作が異なったり、使用できないことがあります。
※ 34： 手書きには個人差がありますので、本機能は完全な変換を保証するものではありません。
※ 35： 接続したUSB 3.0対応機器の転送速度は最大5Gbps(理論値)になります。また、接続したUSB 2.0対応機器の転送速度は最大480Mbps(理論値)となります。
※ 36： パソコン本体を電源に接続している場合のみ使えます。
※ 37： 動作確認済み機器に関しましてはホームページ（http://121ware.com/navigate/products/pc/connect/usb/list.html）をご覧ください。パワーオフUSB充電機能は、ご購入時の状態ではオフに設定されています。使用する場合は、「パワーオフUSB充電の設定」でオンにしてください。
※ 38： パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
※ 39： 各々同時に使用することはできません。「マルチメディアカード(MMC)」はご利用できません。すべてのメモリーカード、メモリーカード対応機器との動作を保証するものではありません。
※ 40： 「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」は、著作権保護機能(CPRM)に対応しています。
「SDIOカード」には対応しておりません。「miniSDカード」、「microSDカード」をご使用の場合には、SDカード変換アダプタをご利用ください。microSDカード→miniSDカード変換アダプタ→SDカード変換アダプタの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「miniSDカード」、「microSDカード」の取扱説明書をご覧ください。
※ 41： 高速転送規格「UHS-I」に対応しています。実際のデータ転送速度は、カード性能、ファイルサイズ等の利用環境により異なります。尚、SDカード変換アダプタを利用した場合、高速転送規格「UHS-I」はサポートしておりません。
※ 42： スタンダードサイズのメモリースティックは、ご利用になれません。「メモリースティック マイクロ」(M2)をご使用の場合には、M2デュオサイズアダプターをご利用ください。本機は4ビットパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメモリーカードによっては読出し／書込みにかかる時間は異なります。「メモリースティック PRO-HG デュオ」の8ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。著作権保護機能(マジックゲート)には対応しておりません。
※ 43： 乾電池の質量は含まれておりません。
※ 44： 電源コードの質量は含まれておりません。
※ 45： バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって記載時間と異なる場合があります。
※ 46： JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。詳しい測定条件は、ホームページ（http://121ware.com/lavie/）→ 各シリーズページ → 「仕様」をご覧ください。
※ 47： パソコン本体のバッテリなど各種電池は消耗品です。
※ 48： 標準添付されている電源コードはAC100V用(日本仕様)です。
※ 49： 公称容量(実使用上でのバッテリパックの容量)を示します。
※ 50： 本製品はマニュアルを添付しております。
※ 51： 天面のみです。回復できないすり傷もありますので、取り扱いには十分ご注意の上お使い願います。また周囲の温度環境やすり傷の深さなどにより復元する時間は変化します。
※ 52： 主な付属品を含みません。
※ 53： 出荷構成(添付品、周辺機器の接続なし)でOSを起動させた状態での測定値です。
※ 54： HDMI規格で定義されている3D映像出力に対応しておりますが、全ての3D映像フォーマットをサポートしているわけではありません。3DコンテンツをHDMI出力端子に接続した機器に表示する場合、接続する機器は3D対応している必要があります。HDMIケーブル(別売)と接続した機器に対応した3Dメガネが別途必要になります。
※ 55： BD/DVDドライブの省電力機能のため、イジェクトボタンを押してから、ディスクが排出されるまで、数秒ほど時間がかかります。
※ 56： インテル® My WiFi テクノロジーは最大8台のWiFi機器を同時に接続することができますが、すべてのWiFi機器に対して動作を保証するものではありません。動作環境と接続の可否をご確認願います。機器によっては複数台同時に使用できないものもあります。複数のデバイスを同時に接続して使用したり、インターネットや高負荷の機能(ワイヤレスTVデジタル/インテル® ワイヤレス・ディスプレイなど)を同時に使用すると通信速度の低下や各機能に影響を与える場合があります。接続する機器によっては別途ソフトウェアやドライバのインストール、および設定変更が必要になる場合があります。
インテル® My WiFi テクノロジーとLuiリモートスクリーンを同時に使用することはできません。
※ 57： アクセスポイントと接続している場合は、2.4GHz(1 ～ 13ch)/5GHz(W52)のうち1つのチャンネルが使用可能です。アクセスポイントと接続していない場合は、2.4GHzの1 ～ 11chのうち1つのチャンネルが使用可能です。
※ 58： アクセスポイントと接続している場合は、2.4GHz(1 ～ 13ch)のうち1つのチャンネルが使用可能です。アクセスポイントと接続していない場合は、2.4GHzの1 ～ 11chのうち1つのチャンネルが使用可能です。
※ 59： インテル® ワイヤレス・ディスプレイは、Ver 2.0(最大解像度：1920×1080(30fps)/ステレオ音声(5.1chなどのマルチチャンネル音声はステレオ音声として出力されます))に対応しています。HDCPで保護された映像コンテンツやその他著作権保護された映像コンテンツをインテル® ワイヤレス・ディスプレイで接続したテレビや外部モニタに表示させることはできません。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイを使用するには、インテル® ワイヤレス・ディスプレイ対応アダプターを別途購入する必要があります。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイとワイヤレスTVデジタルやLuiリモートスクリーンを同時に使用することはできません。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイの映像、音声出力は、パソコンの画面、スピーカーで再生する場合に比べ1秒弱の遅延があるためマウスカーソルでの操作やキーボードによる文字入力・操作には不向きです。また、映像、音声の両方ともインテル® ワイヤレス・ディスプレイで出力する必要があります。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイで再生するコンテンツ(特に高画質1280×720p/30fps以上)によっては、パソコンの画面、スピーカーで再生する場合に比べ品質の低下(動画のカクツキや音飛び)する場合があります。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイとパソコンのHDMI端子から同時に出力することはできません。

BD/DVD/CDドライブ仕様一覧

	ドライブ※1	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)
読出し	CD-ROM※2	最大24倍速
	CD-R	最大24倍速
	CD-RW	最大24倍速
	DVD-ROM	最大8倍速
	DVD-R	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速
	DVD-RW	最大8倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速
	DVD-R (2層)※5	最大8倍速
	DVD+R (2層)	最大8倍速
	BD-ROM	最大6倍速
	BD-R (1層)※10	最大6倍速
	BD-R (2層)※10	最大6倍速
	BD-RE (1層)	最大6倍速
	BD-RE (2層)	最大6倍速
書込み/書換え	CD-R	最大24倍速
	CD-RW※3	最大10倍速
	DVD-R※4	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速
	DVD-RW※7	最大6倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速※9
	DVD-R (2層)※6	最大6倍速
	DVD+R (2層)	最大6倍速
	BD-R (1層)※10	最大6倍速
	BD-R (2層)※10	最大6倍速
	BD-RE (1層)※11	最大2倍速
	BD-RE (2層)※11	最大2倍速

※　1：使用するディスクによっては、一部の書込み／読出し速度に対応していない場合があります。
※　2：Super Audio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読出し可能です。
※　3：Ultra Speed CD-RWディスクはご使用になれません。
※　4：DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。
※　5：追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読出しはサポートしておりません。
※　6：DVD-R(2層)書込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。ただし、追記は未対応です。
※　7：DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書換えに対応しています。
※　8：DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。また、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出してご利用ください。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の読出し/書換えはサポートしておりません。
※　9：DVD-RAM12倍速ディスクの書込みはサポートしておりません。
※ 10：BD-R Ver.1.1/1.2/1.3(LTH Type含む)に準拠したディスクに対応しています。
※ 11：BD-RE Ver.2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。カートリッジタイプのブルーレイディスクには対応しておりません。

TV機能仕様一覧

ワイヤレスTVデジタル添付モデル

■TV仕様 [受信機能]※23

品名			ワイヤレスTVデジタル※4
テレビ受信機能	チューナー		[地上デジタル/ BS・110度CSデジタル]チューナー
		チューナー数	1個
	対応する放送の種類		地上デジタル放送※1、BSデジタル放送※2、110度CSデジタル放送※2
	CATVパススルー対応		対応帯域:全帯域(VHF・MID・SHB・UHF)
	字幕放送		対応
	データ放送		対応
	双方向サービス※3		対応
	EPG(電子番組表)		対応
通信機能	LAN		100BASE-TX対応※6(クロス/ストレート ケーブル自動判別)
	ワイヤレスLAN※5	規格	IEEE802.11a/b/g/n 準拠
		周波数帯域	2.4GHz/5.2GHz(W52)※7
		アンテナ	内蔵2本(送信×2、受信×2)
		セキュリティ※8	WPA-PSK(AES)、WEP 64bit、WPA-PSK(TKIP)
外部インターフェイス	LAN		RJ45×1
	TV		BS・110度CSデジタル放送アンテナ入力端子×1、地上デジタル放送アンテナ入力端子×1、B-CASカードスロット×1
その他	電源		ACアダプタ(100V、50/60Hz)
	消費電力		最大約15W
	電波障害対策		VCCI ClassB
	温湿度条件		5～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)
	外形寸法		31(W)×177(D)×172(H)mm (本体のみ、突起部除く)
	質量		約400g (本体のみ)
	主な添付品		ACアダプタ、スタンド

■TV仕様 [ハードディスクへの録画時間]

録画モード		ビットレート※16	1時間あたりの録画に必要なハードディスク容量※9※10	字幕表示対応	外付けUSBハードディスク※14 録画時間(想定録画容量※15)(めやす)		
					約1.5TB※13	約1TB※13	約500GB※13
ダイレクト※11	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ放送	約24Mbps	約10.1GB	○	約130時間	約90時間	約40時間
	BS・110度CSデジタル標準テレビ放送	約11Mbps	約4.7GB	○	約300時間	約200時間	約100時間
	地上デジタルハイビジョンテレビ放送	約17Mbps	約7.2GB	○	約190時間	約130時間	約60時間
	地上デジタル標準テレビ放送	約8Mbps	約3.4GB	○	約410時間	約270時間	約130時間
ファイン※11		約8Mbps	約3.4GB	○	約410時間	約270時間	約130時間
ファインロング※11		約4Mbps	約1.7GB	○	約830時間	約550時間	約270時間
セミファインロング※24※25		約2.4Mbps	約1.0GB	○	約1380時間	約920時間	約460時間
ロング※12		約2Mbps	約900MB	○	約1660時間	約1110時間	約550時間

■TV仕様　[ディスク(BD/DVD)への保存時間]

ディスク	保存形式※25			字幕表示対応	保存時間(めやす)	対応機器 PC-LL970DS PC-LL770DS
BD-R(1層／2層) BD-RE(1層／2層) ※17	BD-AV形式	ダイレクト※11	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ放送	○	約2時間10分／約4時間20分	●
			BS・110度CSデジタル標準テレビ放送	○	約4時間40分／約9時間30分	●
			地上デジタルハイビジョンテレビ放送	○	約3時間／約6時間	●
			地上デジタル標準テレビ放送	○	約6時間30分／約13時間	●
		ファイン※11		○	約6時間30分／約13時間	●
		ファインロング※11		○	約13時間／約27時間	●
		ロング※12		○	約27時間／約55時間	●
		1ディスクダビング※20		○	ディスクの空き容量によって、保存時間は異なります。※21	●
DVD-R(1層／2層) ※18	AVCREC形式	ファイン※11		○	約1時間10分／約2時間10分	●
		ファインロング※11		○	約2時間30分／約4時間40分	●
		ロング※12		○	約5時間／約9時間30分	●
		1ディスクダビング※20		○	ディスクの空き容量によって、保存時間は異なります。※21	●
	DVD-VR形式※12※19	高画質		×	約1時間20分／約2時間20分	●
		標準画質		×	約2時間30分／約4時間40分	●
		長時間		×	約5時間／約9時間	●
		1ディスクダビング		×	ディスクの空き容量によって、保存時間は異なります。※21	●
DVD-RAM (片面4.7GB) ※13※18	AVCREC形式	ファイン※11		○	約1時間10分	●
		ファインロング※11		○	約2時間30分	●
		ロング※12		○	約5時間	●
		1ディスクダビング※20		○	ディスクの空き容量によって、保存時間は異なります。※21	●
	DVD-VR形式※12※19	高画質		×	約1時間10分	●
		標準画質		×	約2時間20分	●
		長時間		×	約5時間	●
		1ディスクダビング		×	ディスクの空き容量によって、保存時間は異なります。※21	●

■TV仕様　[外でもVIDEO]

画質(解像度)	ビットレート ※16	字幕表示対応	保存時間(めやす) SDメモリーカード※10※22			
			16GB	8GB	4GB	2GB
SD画質(640×360)	約1.1Mbps	×	約30時間	約15時間	約7時間	約3時間
ワンセグ画質(320×180)	約600Kbps	×	約57時間	約28時間	約14時間	約7時間

■TV仕様注釈

放送中の番組を視聴しているとき、および、ダイレクトモードでハードディスクに録画した番組を再生しているとき以外は、データ放送を利用することはできません。録画(保存)時間は目安であり、録画(保存)する先(ハードディスク、BD/DVDディスク、SDメモリーカード)の空き容量や、録画(保存)する番組によって変動します。SmartVisionの場合、5.1chサラウンド放送の音声は、ステレオ2chに変換して出力しています。

※　1：ケーブルテレビ会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーション方式など)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。

※　2：ケーブルテレビ会社経由でBSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できるかどうかは、ケーブルテレビ会社により異なります。ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。

※　3：双方向サービスは、LAN回線を使用して利用できます。尚、本機はモデム機能を搭載していないため、電話回線を使用しての利用はできません。

※　4：「ワイヤレスTVデジタル」を使用してTVとインターネット接続を同時に行うためには、ルータ機能を搭載した機器(ルータ、ルータタイプのADSLモデムなど)とLANケーブルが別途必要です。PPPoE接続に対応しているインターネット接続サービス(フレッツ・ADSLなど)をご利用の場合、ワイヤレスTVデジタルとパソコンが一対一の環境の場合はLANケーブルが別途必要です。なお、お客様がご利用のインターネット環境についてはお客様がご契約されているプロバイダなどにご確認ください。ワイヤレスLANルータとワイヤレスTVデジタルは、ワイヤレスLANで接続できない為、LANケーブルで接続してください。USB接続経由でインターネットに接続出来るモバイルルータを使用する場合は、パソコン本体とUSB接続をすることで、TVとインターネットを同時にご利用できます。詳細は、ホームページ(http://121ware.com/catalog/wifi/)で、事前にご確認ください。

※　5：理論上の最大通信速度は送受信ともに130Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※　6：TV映像伝送は100BASE-TXでのみご利用いただけます。

※　7：IEEE802.11n(W52)、およびIEEE802.11a(W52)ワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。W52は社団法人 電子情報技術産業協会による表記です。詳細はホームページ(http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/JEITA_5GHzwirelessLANguideline3_100331.pdf)をご覧ください。

※　8：IEEE802.11nは、WPA-PSK(AES)のみでサポートされます。

※　9：録画するTV番組により必要なハードディスク容量は変動します。

※ 10： 容量は、1MB＝1024^{2}バイト、1GB＝1024^{3}バイト換算値です。
※ 11： 放送された解像度のままで録画します。
※ 12： 解像度は、720×480となります。
※ 13： 1GBを10億（1000^3）バイト、1TBを1兆（1000^4）バイトで計算した場合の数値です。
※ 14： 動作確認済み機器に関しましては、ホームページ（http://121ware.com/catalog/hddlist/）をご覧ください。
※ 15： 録画に使用可能な空き容量の想定値です。
※ 16： 録画する番組により、ビットレートはこの値を基準にして上下に変動します。
※ 17： BD-RE Ver.1.0規格のディスク（カートリッジ付きディスク）の使用はできません。次世代著作権保護技術AACSに対応しています。
※ 18： CPRM方式に対応していないDVD-R/DVD-RAMにはコピーまたはムーブできません。
※ 19： DVD-VR形式で保存する場合には、ダイレクト／ファイン／ファインロング／セミファインロング／ロングを、高画質／標準画質／長時間に変換します。
※ 20： 解像度を720×480に変換して書き込まれる場合があります。
※ 21： ディスクの空き容量にあわせて、ビットレートや解像度を変換して保存します。ただし、ディスクへ保存する合計時間が長すぎる場合は、保存できない場合があります。
※ 22： サポートするSDメモリーカードは、microSDカード、microSDHCカード、SDXCメモリーカードになります。動作確認済機器に関しましては、ホームページ（http://121ware.com/catalog/sotodemo/）をご覧ください。
パソコン本体では再生できません。
SDメモリーカードに表示されている容量の約90%を録画番組の保存に利用可能として保存時間を算出しており、実際の保存時間とは異なる場合があります。
長時間番組は、SD画質では約3時間30分ごと、ワンセグ画質では約6時間30分ごとを目安に複数の番組データに分割してSDメモリーカードに転送します。
※ 23： インテル® ワイヤレス・ディスプレイへの出力はサポートしていません。
※ 24： 最大解像度は1280×1080となります。
※ 25： 「セミファインロングモード」で録画した番組をディスクに保存するときの最大解像度は、720×480になります。ブルーレイディスクに保存するときやAVCREC形式でDVDに保存するときは、自動的に「ロング」モードに変換して保存します。

LAN仕様一覧

項　目	規　格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時：1,000Mbps 100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時：UTPカテゴリ5e以上 100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時：UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T：最大約200m/ステーション間 100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-T：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

ワイヤレスLAN仕様一覧

本機能は高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル、および高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデルのみの機能です。

高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル
インテル® My WiFi テクノロジー対応
インテル® ワイヤレス・ディスプレイ対応

インテル® My WiFi テクノロジー※1およびインテル® ワイヤレス・ディスプレイ※2に対応しています。

※ 1：インテル® My WiFi テクノロジーは最大8台のWiFi機器を同時に接続することができますが、すべてのWiFi機器に対して動作を保証するものではありません。動作環境と接続の可否をご確認願います。機器によっては複数台同時に使用できないものもあります。複数のデバイスを同時に接続して使用したり、インターネットや高負荷の機能(ワイヤレスTVデジタル/インテル® ワイヤレス・ディスプレイなど)を同時に使用すると通信速度の低下や各機能に影響を与える場合があります。接続する機器によっては別途ソフトウェアやドライバのインストール、および設定変更が必要になる場合があります。
アクセスポイントと接続している場合は、2.4GHz(1 ～ 13ch)/5GHz(W52)のうち1つのチャンネルが使用可能です。アクセスポイントと接続していない場合は、2.4GHzの1 ～ 11chのうち1つのチャンネルが使用可能です。
インテル® My WiFi テクノロジーとLuiリモートスクリーンを同時に使用することはできません。

※ 2：インテル® ワイヤレス・ディスプレイは、Ver 2.0(最大解像度：1920×1080(30fps)/ステレオ音声(5.1chなどのマルチチャンネル音声はステレオ音声として出力されます))に対応しています。HDCPで保護された映像コンテンツやその他著作権保護された映像コンテンツをインテル® ワイヤレス・ディスプレイで接続したテレビや外部モニタに表示させることはできません。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイを使用するには、インテル® ワイヤレス・ディスプレイ対応アダプターを別途購入する必要があります。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイとワイヤレスTVデジタルやLuiリモートスクリーンを同時に使用することはできません。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイの映像、音声出力は、パソコンの画面、スピーカーで再生する場合に比べ1秒弱の遅延があるためマウスカーソルでの操作やキーボードによる文字入力・操作には不向きです。また、映像、音声の両方ともインテル® ワイヤレス・ディスプレイで出力する必要があります。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイで再生するコンテンツ(特に高画質1280×720p/30fps以上)によっては、パソコンの画面、スピーカーで再生する場合に比べ品質の低下(動画のカクツキや音飛び)する場合があります。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイとパソコンのHDMI端子から同時に出力することはできません。

●IEEE802.11a

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11a、ARIB STD-T71※4
通信モード	54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbpsモード)※1
伝送方式	OFDM方式
無線チャンネル	36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64ch、100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch(パッシブスキャン)※5
周波数帯域	5GHz帯域　(5.15 ～ 5.35GHz、5.47 ～ 5.725GHz)※2
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES) WEP(鍵長64bit/128bit※3)

※ 1：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※ 2：36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64chを利用したワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
※ 3：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。
※ 4：ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線)」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。
※ 5：パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

●IEEE802.11b/g

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b、ARIB STD-T66※3
通信モード	IEEE802.11gモード：54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbpsモード)※1 IEEE802.11bモード：11/5.5/2/1 (Mbpsモード)※1
伝送方式	OFDM方式 (54/48/36/24/18/12/9/6Mbpsモード時) DS-SS方式 (11/5.5/2/1Mbpsモード時)
無線チャンネル	1 ～ 11ch (アクティブスキャン) 12、13ch (パッシブスキャン)※4
周波数帯域	2.4GHz帯域　(2.4 ～ 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES) WEP(鍵長64bit/128bit※2)

※ 1：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※ 2：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。
※ 3：ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線)」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。
※ 4：パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

●IEEE802.11n

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11n、ARIB STD-T66※2、ARIB STD-T71※2
通信モード	20MHz時:130/117/104/78/52/39/26/13(Mbpsモード) 20MHz、Short GI有効時:144.44/130/115.56/86.67/57.78/43.33/28.89/14.44(Mbpsモード) 40MHz時:270/243/216/162/108/81/54/27(Mbpsモード) 40MHz、Short GI有効時:300/270/240/180/120/90/60/30(Mbpsモード)※1
伝送方式	OFDM方式、MIMO方式
無線チャンネル	1 ～ 11ch(アクティブスキャン) 12、13ch(パッシブスキャン)※3 36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64ch、100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch(パッシブスキャン)※3
周波数帯域	2.4GHz帯域(2.4 ～ 2.4835GHz) 5GHz帯域(5.15 ～ 5.35GHz、5.47 ～ 5.725GHz)※4
セキュリティ	WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)

※　1:各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※　2:ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線)」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。
※　3:パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。
※　4:36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64chを利用したワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。

高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル
インテル® My WiFi テクノロジー対応
インテル® ワイヤレス・ディスプレイ対応

インテル® My WiFi テクノロジー※1およびインテル® ワイヤレス・ディスプレイ※2に対応しています。

※　1:インテル® My WiFi テクノロジーは最大8台のWiFi機器を同時に接続することができますが、すべてのWiFi機器に対して動作を保証するものではありません。動作環境と接続の可否をご確認願います。機器によっては複数台同時に使用できないものもあります。複数のデバイスを同時に接続して使用したり、インターネットや高負荷の機能(ワイヤレスTVデジタル/インテル® ワイヤレス・ディスプレイなど)を同時に使用すると通信速度の低下や各機能に影響を与える場合があります。接続する機器によっては別途ソフトウェアやドライバのインストール、および設定変更が必要になる場合があります。
アクセスポイントと接続している場合は、2.4GHz(1 ～ 13ch)のうち1つのチャンネルが使用可能です。アクセスポイントと接続していない場合は、2.4GHzの1 ～ 11chのうち1つのチャンネルが使用可能です。
インテル® My WiFi テクノロジーとLuiリモートスクリーンを同時に使用することはできません。

※　2:インテル® ワイヤレス・ディスプレイは、Ver 2.0(最大解像度:1920×1080(30fps)/ステレオ音声(5.1chなどのマルチチャンネル音声はステレオ音声として出力されます))に対応しています。HDCPで保護された映像コンテンツやその他著作権保護された映像コンテンツをインテル® ワイヤレス・ディスプレイで接続したテレビや外部モニタに表示させることはできません。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイを使用するには、インテル® ワイヤレス・ディスプレイ対応アダプターを別途購入する必要があります。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイとワイヤレスTVデジタルやLuiリモートスクリーンを同時に使用することはできません。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイの映像、音声出力は、パソコンの画面、スピーカーで再生する場合に比べ1秒弱の遅延があるためマウスカーソルでの操作やキーボードによる文字入力・操作には不向きです。また、映像、音声の両方ともインテル® ワイヤレス・ディスプレイで出力する必要があります。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイで再生するコンテンツ(特に高画質1280×720p/30fps以上)によっては、パソコンの画面、スピーカーで再生する場合に比べ品質の低下(動画のカクツキや音飛び)する場合があります。
インテル® ワイヤレス・ディスプレイとパソコンのHDMI端子から同時に出力することはできません。

●IEEE802.11b/g

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b、ARIB STD-T66 ※3
通信モード	IEEE802.11gモード:54/48/36/24/18/12/9/6(Mbpsモード)※1 IEEE802.11bモード:11/5.5/2/1(Mbpsモード)※1
伝送方式	OFDM方式(54/48/36/24/18/12/9/6Mbpsモード時) DS-SS方式(11/5.5/2/1Mbpsモード時)
無線チャンネル	1 ～ 11ch(アクティブスキャン) 12、13ch(パッシブスキャン)※4
周波数帯域	2.4GHz帯域(2.4 ～ 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES) WEP(鍵長64bit/128bit※2)

※　1:各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※　2:ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。
※　3:ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線)」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。
※　4:パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

●IEEE802.11n

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11n Draft 2.0 ※1、ARIB STD-T66 ※2
通信モード(送信時)	20MHz時:65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5(Mbpsモード) 20MHz、Short GI有効時:72.22/65/57.78/43.33/28.89/21.67/14.44/7.22(Mbpsモード) 40MHz時:135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5(Mbpsモード) 40MHz、Short GI有効時:150/135/120/90/60/45/30/15(Mbpsモード)※1
通信モード(受信時)	20MHz時:130/117/104/78/52/39/26/13(Mbpsモード) 20MHz、Short GI有効時:144.44/130/115.56/86.67/57.78/43.33/28.89/14.44(Mbpsモード) 40MHz時:270/243/216/162/108/81/54/27(Mbpsモード) 40MHz、Short GI有効時:300/270/240/180/120/90/60/30(Mbpsモード)※1
伝送方式	OFDM方式、MIMO方式
無線チャンネル	1 ～ 11ch(アクティブスキャン) 12、13ch(パッシブスキャン)※3
周波数帯域	2.4GHz帯域(2.4 ～ 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)

※　1:各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※　2:ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線)」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。
※　3:パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

リモコン仕様一覧

● ワイヤレスTVデジタル添付モデル

外形寸法	リモコン受信用ユニット	20(W)×16(D)×7(H)mm
	リモコン※1	50(W)×258(D)×27.5(H)mm
質量	リモコン受信用ユニット	約5g
	リモコン	約140g(電池含まず)
電池		単3形乾電池2本

※　1:使用可能な距離は約3mです(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。

数字

アルファベット

A

C

D

E

F

H

L

M

N

O

S

U

W

かな

あ

か

さ

ローマ字変換表

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	が	ざ	だ	ば	ぱ
A	KA	SA	TA	NA	HA	MA	YA	RA	WA	GA	ZA	DA	BA	PA
い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	ぎ	じ	ぢ	び	ぴ
I	KI	SI・SHI	TI・CHI	NI	HI	MI	YU	RI	WO	GI	ZI・JI	DI	BI	PI
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	ぐ	ず	づ	ぶ	ぷ
U	KU	SU	TU・TSU	NU	HU・FU	MU	YO	RU	NN	GU	ZU	DU	BU	PU
え	け	せ	て	ね	へ	め		れ		げ	ぜ	で	べ	ぺ
E	KE	SE	TE	NE	HE	ME		RE		GE	ZE	DE	BE	PE
お	こ	そ	と	の	ほ	も		ろ		ご	ぞ	ど	ぼ	ぽ
O	KO	SO	TO	NO	HO	MO		RO		GO	ZO	DO	BO	PO

ぁ、ぃ、ゃなどの小さい文字だけを入力するときは、直前にキーボードの【L】か【X】を押す。
　例：ぁ→LA、ゅ→LYU
きゃ、きゅ、しゃなどは、間に【Y】を押す。
　例：きゃ→KYA、きゅ→KYU（しゃ、しゅ、しょは、間に【H】を押しても入力できます）
「ディ」は「DHI」と打つ。「デ」と「ィ」に分けて、「DE」、「LI」と打つ方法もある。また、小さい「っ」は、次の文字を繰り返して打つ。
　例：きっかけ→KIKKAKE

入力する文字を切り換える

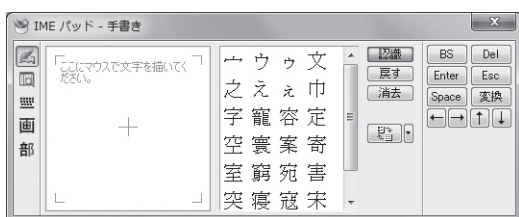
【半角/全角】を押す。
日本語を入力できる状態と半角英数字を入力できる状態が切り換わります。

状態はここで確認できます。

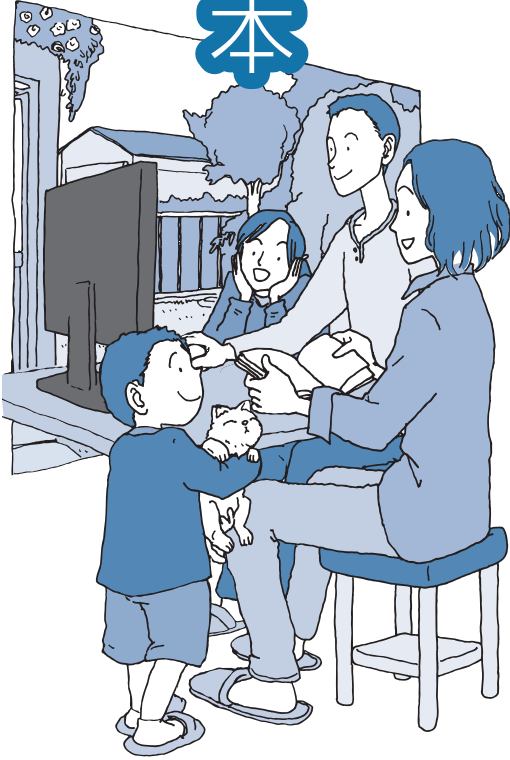
日本語入力　　　　半角英数字入力

※お使いのモデルにより画面表示が異なる場合があります。

読み方のわからない文字を入力する

言語バーの をクリックし、表示された画面で手書き入力をする。

※お使いのモデルにより画面表示が異なる場合があります。

LaVieでは「手書きでお助けパッド」で手書き入力をすることもできます。
「手書きでお助けパッド」について詳しくは、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「マウスとスライドパッド」-「NXパッドの設定を変更する」をご覧ください。

LaVie

初版 2011年2月
NEC
853-811064-078-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。